

インターネットアンケート調査結果の分析 (非在住・在勤者)

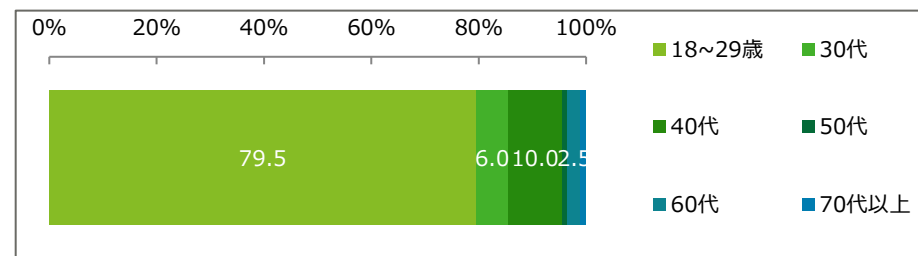
Q1. あなたの年齢として当てはまるものを1つだけ選んでください

属性（単純集計）

- インターネットアンケート調査では、新宿区の在学者200名・在勤者300名（ともに非在住者）を対象に実施しています。
- 在学者は年代を限定せずに実施し、在勤者は以下の内訳で実施しました
 - 20代：100名
 - 30～40代：100名
 - 50代以上：100名

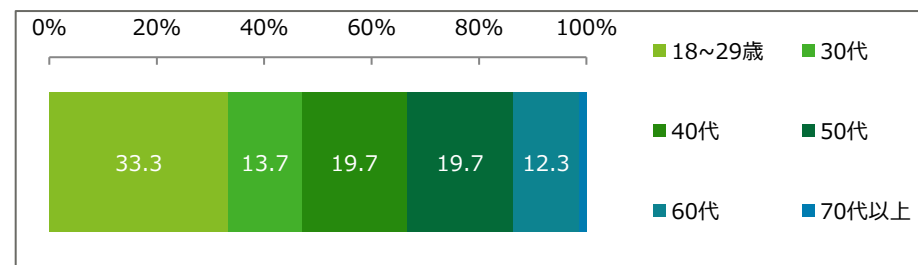
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 18～29歳	159	79.5
2 30代	12	6.0
3 40代	20	10.0
4 50代	2	1.0
5 60代	5	2.5
6 70代以上	2	1.0



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 18～29歳	100	33.3
2 30代	41	13.7
3 40代	59	19.7
4 50代	59	19.7
5 60代	37	12.3
6 70代以上	4	1.3



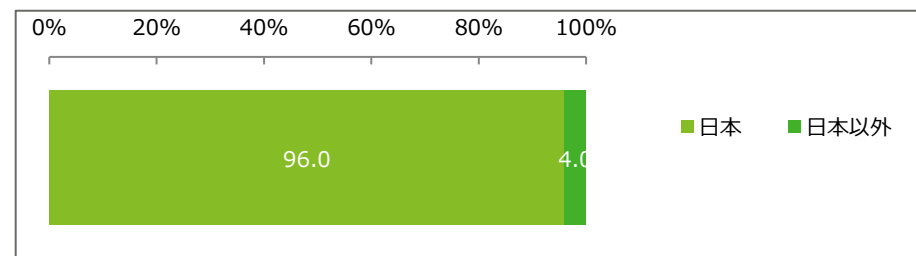
Q2. あなたの国籍として当てはまるものを1つだけ選んでください

属性（単純集計）

- 在学者は「日本」192人（96.0%）・「日本以外」8人（4.0%）、在勤者は「日本」297人（99.0%）・「日本以外」3人（1.0%）で、在学者の方が非日本籍回答者の比率がやや高いです。総合計画では、在学者向けを中心に、多言語での情報発信や相談案内を強めることが有効です。

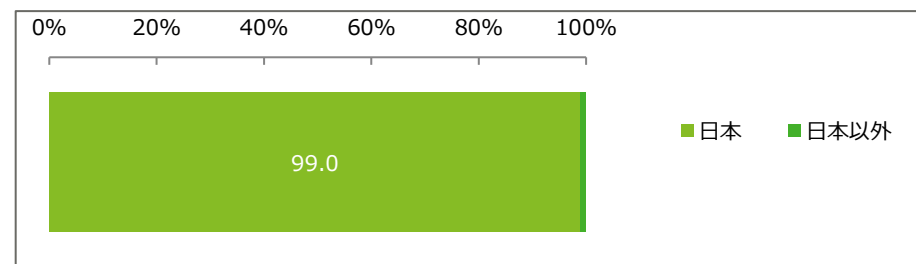
（在学者：n=200）

		n	%
	全体	200	100.0
1	日本	192	96.0
2	日本以外	8	4.0



（在勤者：n=300）

		n	%
	全体	300	100.0
1	日本	297	99.0
2	日本以外	3	1.0

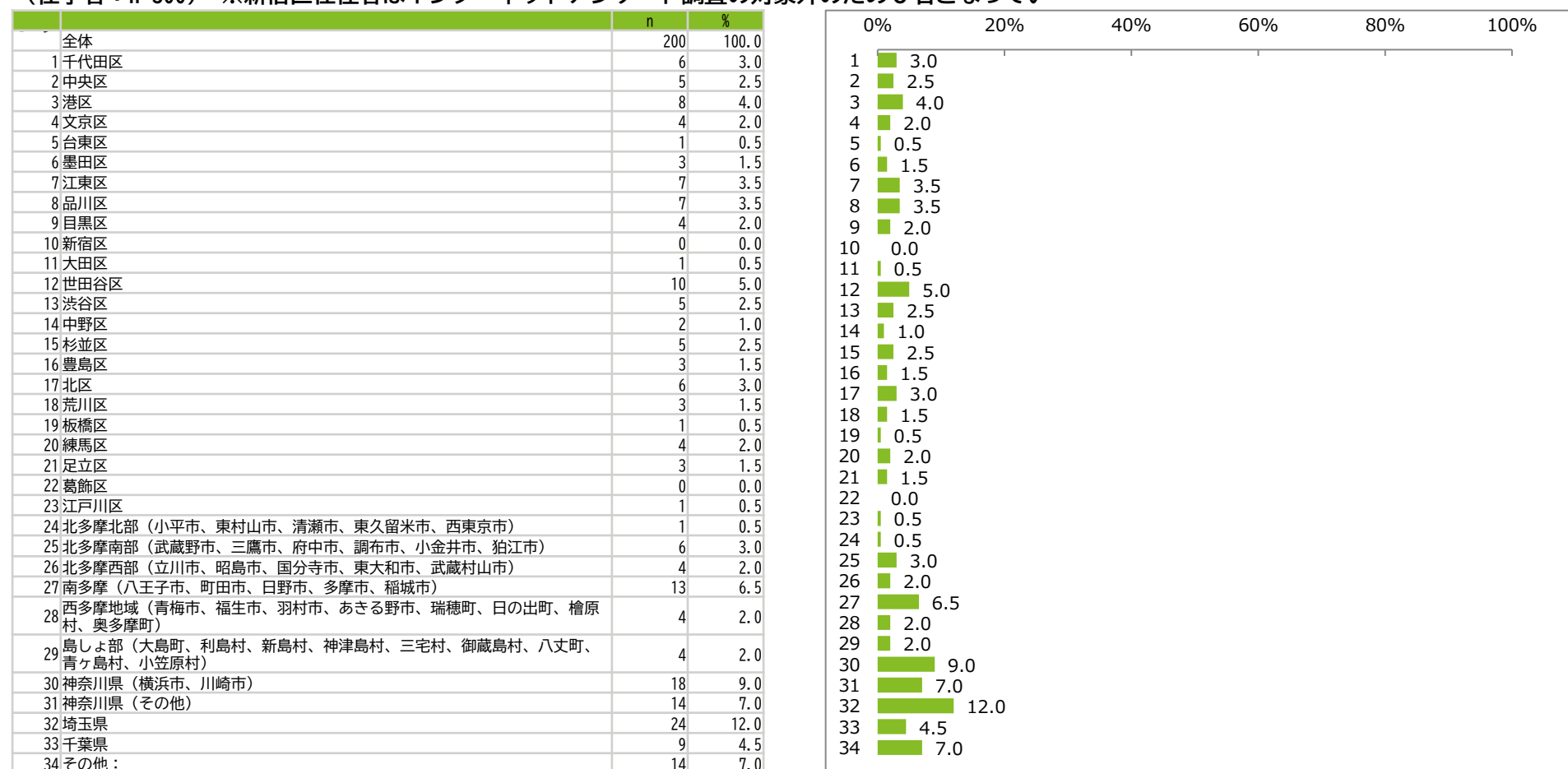


Q3. あなたのお住まいの場所として当てはまるものを1つだけ選んでください

属性（単純集計）（在学者）

- 「埼玉県」24人（12.0%）、「神奈川県（横浜市、川崎市）」18人（9.0%）、「神奈川県（その他）」14人（7.0%）などとなっています。新宿区外の広域から通っているため、総合計画では、広域アクセスのしやすさや、来訪者に届く情報設計を重視する必要があります。

（在学者：n=300） ※新宿区在住者はインターネットアンケート調査の対象外のため0名となっています

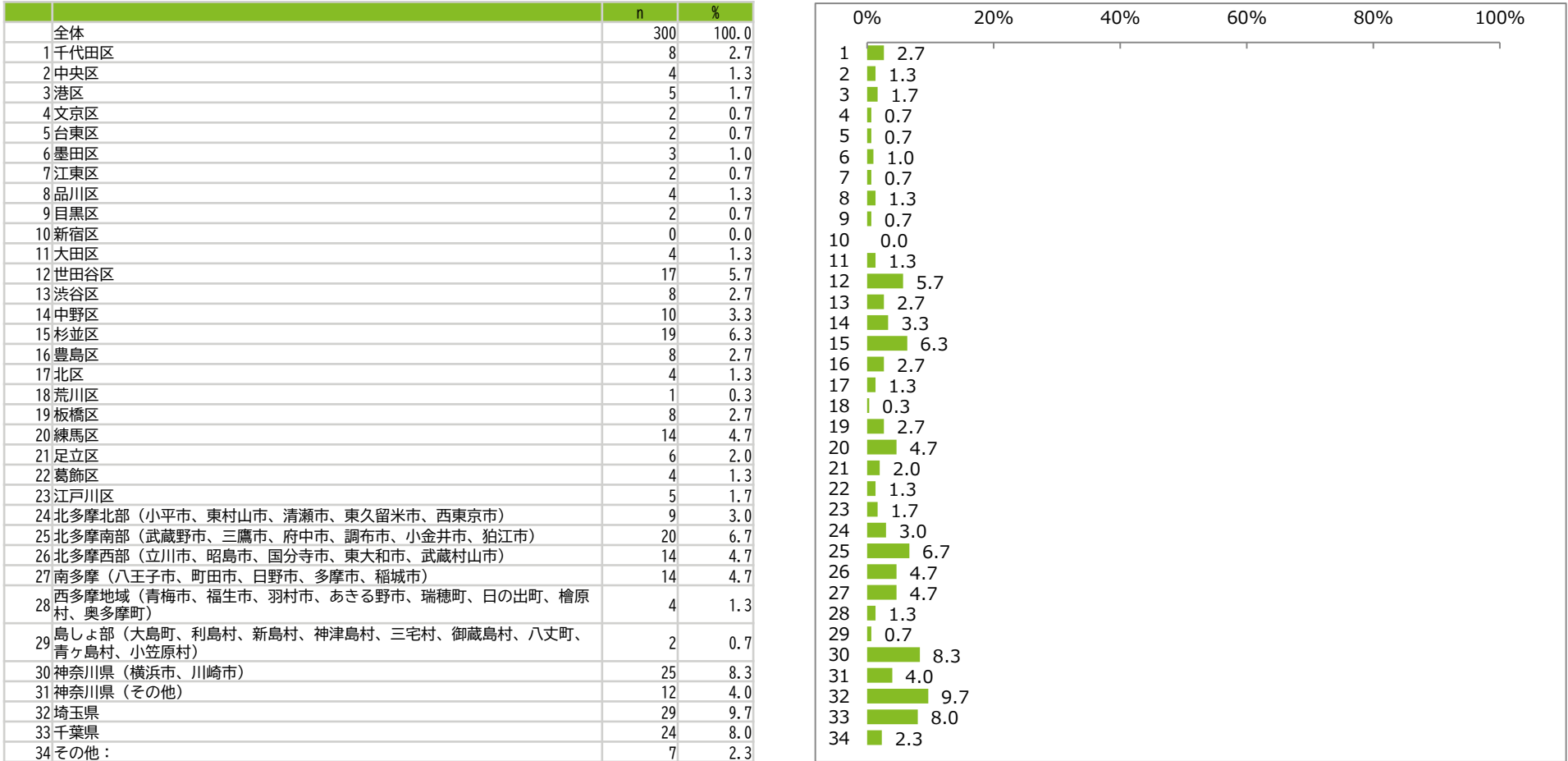


Q3. あなたのお住まいの場所として当てはまるものを1つだけ選んでください

属性（単純集計）（在勤者）

■ 「埼玉県」29人（9.7%）、「神奈川県（横浜市、川崎市）」25人（8.3%）、「千葉県」24人（8.0%）などとなっています。在学者同様、新宿区外の広域から通っている方が一定割合いるため、総合計画では、広域アクセスのしやすさや、来訪者に届く情報設計を重視する必要があります。

（在勤者：n=300） ※新宿区在住者はインターネットアンケート調査の対象外のため0名となっています



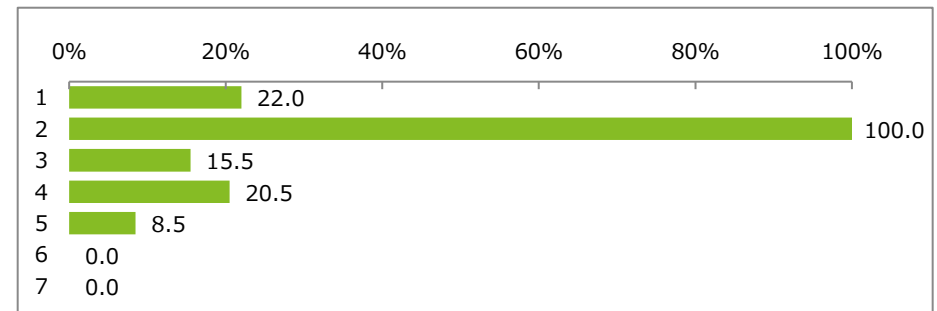
Q4. あなたはどのような目的で新宿区に訪れていますか。当てはまるものを全て選んでください（いくつでも）

属性（単純集計）

- 在学者は「勤務先が新宿区内にある」44人（22.0%）、「買い物やレジャーのために新宿区に定期的に来ている（月1回以上）」41人（20.5%）、「NPO活動など、新宿区を拠点に社会的活動を行っている」31人（15.5%）と、通学以外の関わりも比較的多いです。一方、在勤者は「買い物やレジャー」48人（16.0%）、「友人・家族が新宿区に住んでいる」13人（4.3%）にとどまります。総合計画では、在学者には“学び＋活動＋消費”の複合的な関わりを伸ばし、在勤者には“勤務以外の接点”を増やす施策が有効です。

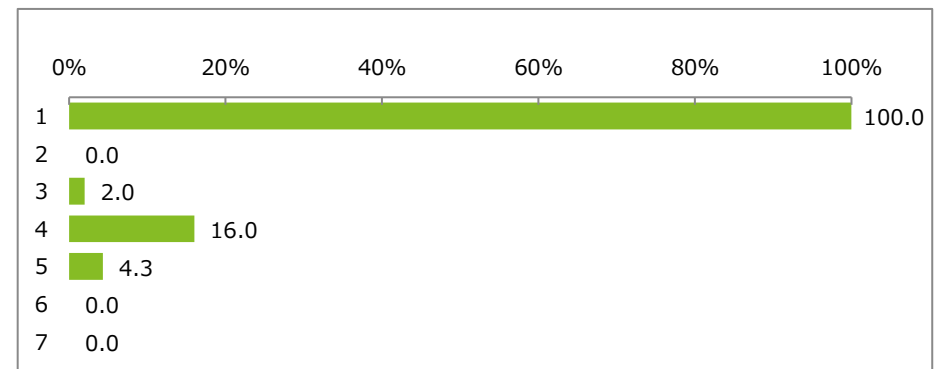
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 勤務先が新宿区内にある	44	22.0
2 通学先が新宿区内にある	200	100.0
3 NPO活動など、新宿区を拠点に社会的活動を行っている	31	15.5
4 買い物やレジャーのために新宿区に定期的に来ている（月1回以上）	41	20.5
5 友人・家族が新宿区に住んでいる	17	8.5
6 訪問しない	0	0.0
7 その他：	0	0.0



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 勤務先が新宿区内にある	300	100.0
2 通学先が新宿区内にある	0	0.0
3 NPO活動など、新宿区を拠点に社会的活動を行っている	6	2.0
4 買い物やレジャーのために新宿区に定期的に来ている（月1回以上）	48	16.0
5 友人・家族が新宿区に住んでいる	13	4.3
6 訪問しない	0	0.0
7 その他：	0	0



Q5. あなたのご職業として当てはまるものを1つだけ選んでください

属性（単純集計）

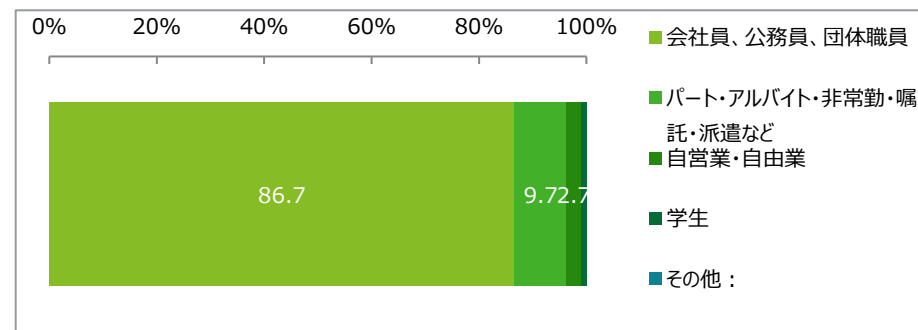
- 在学者200名は全て学生ですが、在勤者300名では「会社員、公務員、団体職員」260人（86.7%）、「パート・アルバイト・非常勤・嘱託・派遣など」29人（9.7%）で大半を占めており、一部、働きながら大学院に通っている方がいました（3人）。

（在学者：n=200）

※ 在学者200名については、全員が新宿区内に在学している学生200名のため、グラフの掲載は省略しています

（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 会社員、公務員、団体職員	260	86.7
2 パート・アルバイト・非常勤・嘱託・派遣など	29	9.7
3 自営業・自由業	8	2.7
4 学生	3	1.0
5 その他：	0	0.0



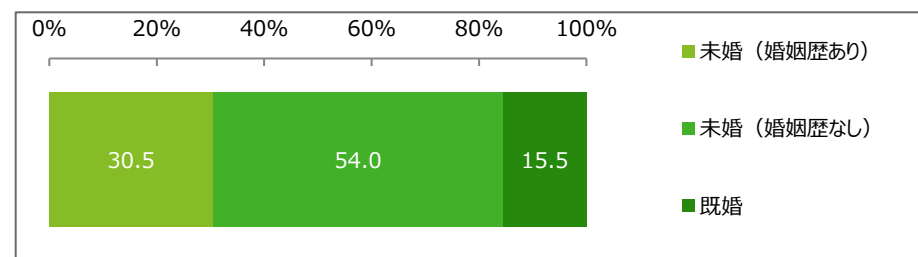
Q6. あなたの婚姻状況をお選びください

属性（単純集計）

- 在学者は「未婚（婚姻歴なし）」108人（54.0%）が中心で、在勤者は「既婚」145人（48.3%）が最多です。総合計画では、在学者には单身・若年層向けの情報、在勤者には家族・子育て・生活環境に関する施策の見せ方を強めることが効果的です。

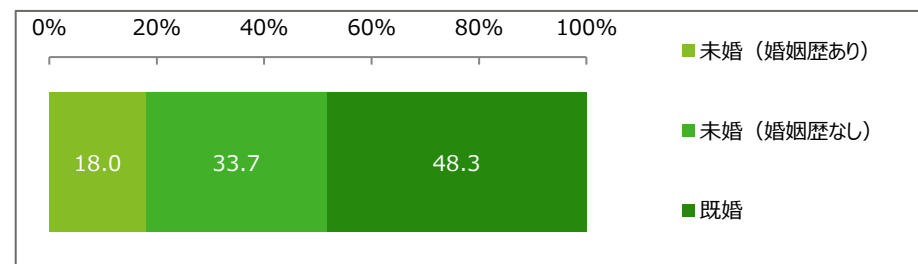
（在学者：n=200）

		n	%
	全体	200	100.0
1	未婚（婚姻歴あり）	61	30.5
2	未婚（婚姻歴なし）	108	54.0
3	既婚	31	15.5



（在勤者：n=300）

		n	%
	全体	300	100.0
1	未婚（婚姻歴あり）	54	18.0
2	未婚（婚姻歴なし）	101	33.7
3	既婚	145	48.3



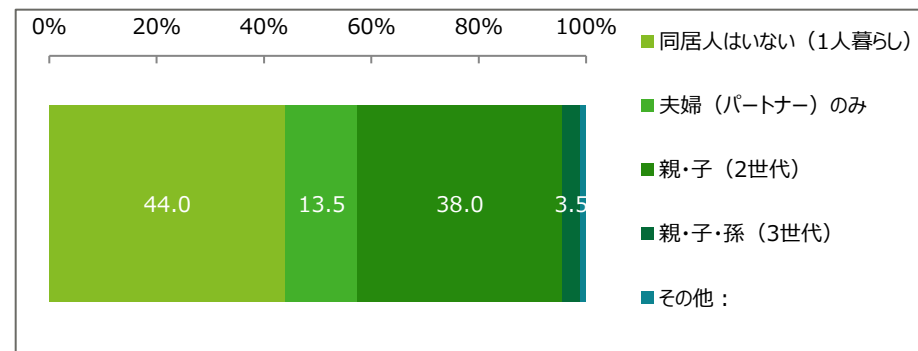
Q7. あなたの同居している家族構成として当てはまるものを1つだけ選んでください

属性（単純集計）

- 在学者は「同居人はいない（1人暮らし）」88人（44.0%）が最多で、在勤者は「親・子（2世代）」113人（37.7%）が最多です。総合計画では、在学者には単身者向けの住環境・居場所づくり、在勤者にはファミリー層向けの子育て・安全・住環境整備を重視すると効果的と思われます。

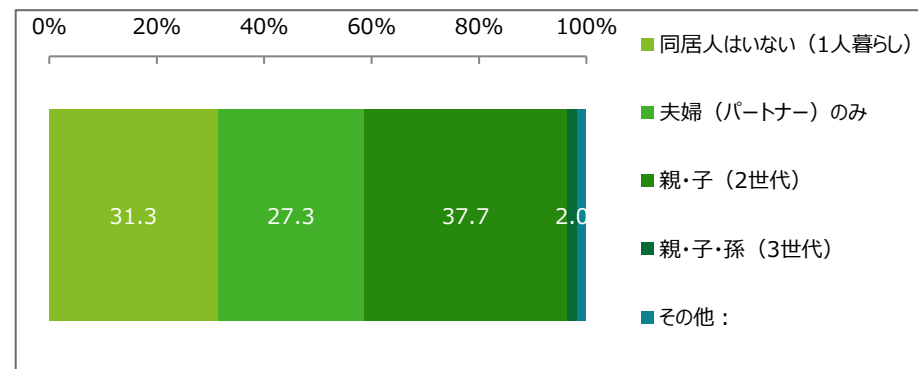
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1同居人はいない（1人暮らし）	88	44.0
2夫婦（パートナー）のみ	27	13.5
3親・子（2世代）	76	38.0
4親・子・孫（3世代）	7	3.5
5その他：	2	1.0



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1同居人はいない（1人暮らし）	94	31.3
2夫婦（パートナー）のみ	82	27.3
3親・子（2世代）	113	37.7
4親・子・孫（3世代）	6	2.0
5その他：	5	1.7



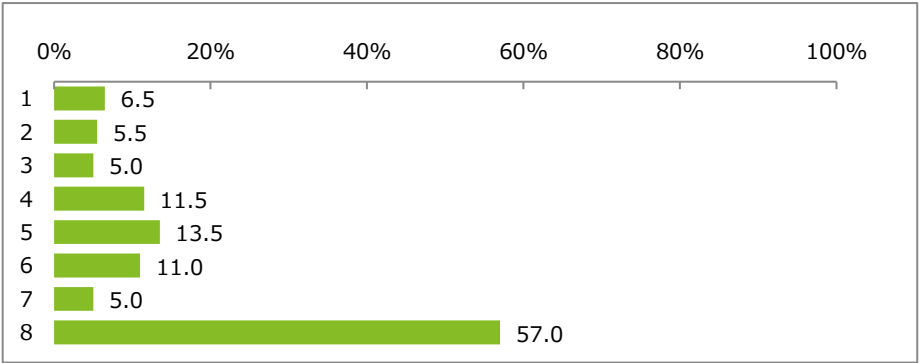
Q8. あなた自身、または同居家族に次の方はいますか。当てはまるものをすべて選んでください

属性（単純集計）

■ 在勤者は「該当なし」210人（70.0%）が多い一方、在学者は「該当なし」114人（57.0%）で、在学者の方が家庭内に支援ニーズを抱える比率が高いです。特に在学者では「身体障害者手帳をお持ちの方」27人（13.5%）、「介護認定を受けている方」23人（11.5%）、「愛の手帳をお持ちの方」22人（11.0%）が目立ちます。総合計画では、在学者も含めた介護・障害福祉情報へのアクセス向上が重要です。

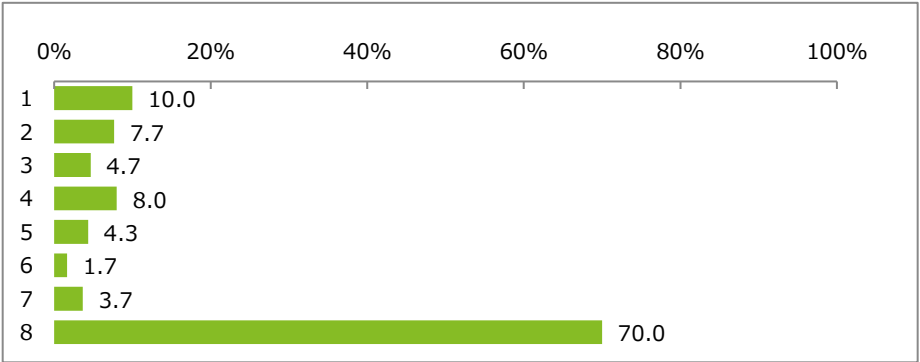
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 就学前（0～5歳）のこども	13	6.5
2 小学生	11	5.5
3 中学生	10	5.0
4 介護認定を受けている方	23	11.5
5 身体障害者手帳をお持ちの方	27	13.5
6 愛の手帳をお持ちの方	22	11.0
7 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方	10	5.0
8 該当なし	114	57.0



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 就学前（0～5歳）のこども	30	10.0
2 小学生	23	7.7
3 中学生	14	4.7
4 介護認定を受けている方	24	8.0
5 身体障害者手帳をお持ちの方	13	4.3
6 愛の手帳をお持ちの方	5	1.7
7 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方	11	3.7
8 該当なし	210	70.0



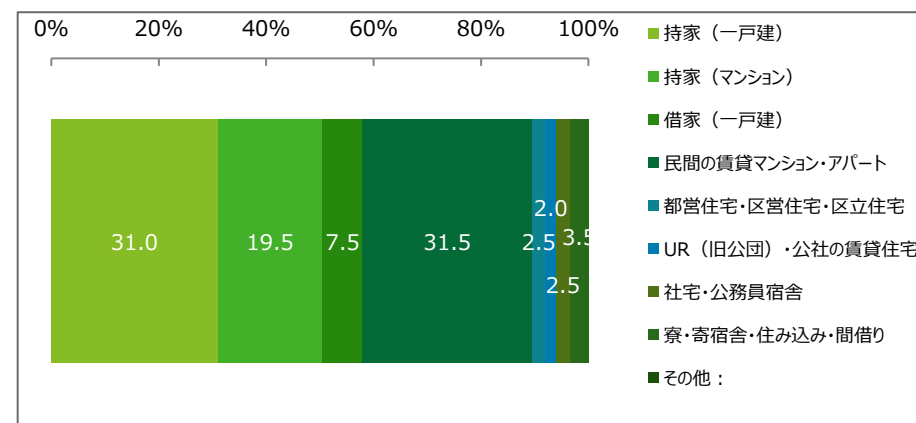
Q9. どのような住宅にお住まいですか

属性（単純集計）

- 在学者は「民間の賃貸マンション・アパート」63人（31.5%）と「持家（一戸建）」62人（31.0%）が拮抗し、在勤者は「民間の賃貸マンション・アパート」118人（39.3%）が最多です。総合計画では、在勤者向けには賃貸居住を前提とした住環境・居住コストへの配慮、在学者向けには実家居住者と一人暮らしの双方を意識した住宅・生活支援情報の充実が求められます。

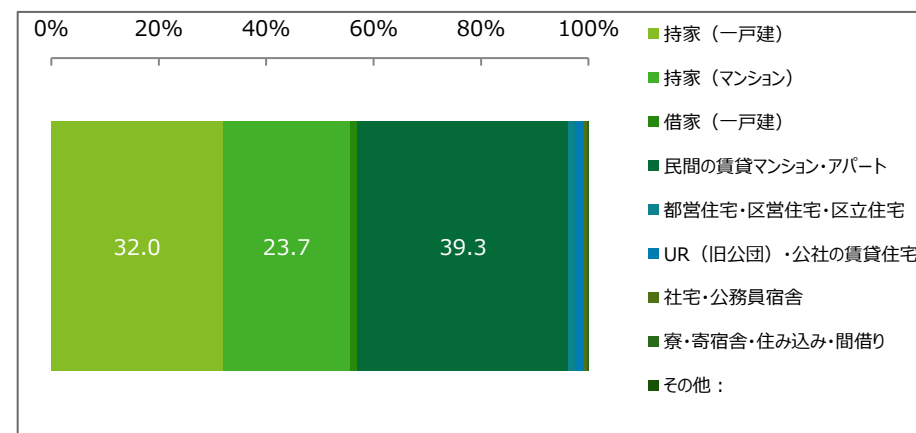
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 持家（一戸建）	62	31.0
2 持家（マンション）	39	19.5
3 借家（一戸建）	15	7.5
4 民間の賃貸マンション・アパート	63	31.5
5 都営住宅・区営住宅・区立住宅	5	2.5
6 UR（旧公団）・公社の賃貸住宅	4	2.0
7 社宅・公務員宿舎	5	2.5
8 寮・寄宿舎・住み込み・間借り	7	3.5
9 その他：	0	0.0



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 持家（一戸建）	96	32.0
2 持家（マンション）	71	23.7
3 借家（一戸建）	4	1.3
4 民間の賃貸マンション・アパート	118	39.3
5 都営住宅・区営住宅・区立住宅	4	1.3
6 UR（旧公団）・公社の賃貸住宅	4	1.3
7 社宅・公務員宿舎	2	0.7
8 寮・寄宿舎・住み込み・間借り	1	0.3
9 その他：	0	0.0



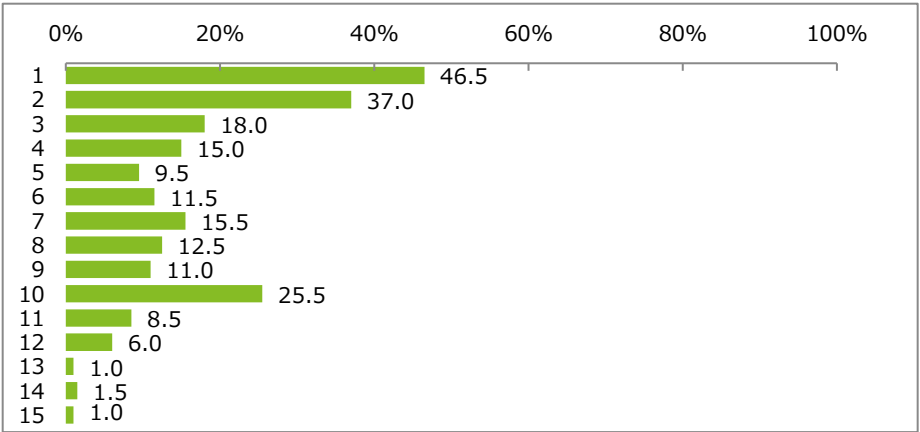
Q10. あなたは、新宿区を訪れる際、どのような点に魅力を感じていますか。当
てはまるものを、3つまで選んでください（3つまで）

定住意向（単純集計）

■ 在学者は「ショッピング施設が豊富である」93人（46.5%）、「飲食店が豊富である」74人（37.0%）が上位で、在勤者も同様の項目に加え、「交通の利便性が高い」151人（50.3%）が突出しています。在勤者は利便性・消費機能への評価がより強く、在学者は評価軸が分散する傾向があります。総合計画では、商業・交通の強みを維持しつつ、在勤者向けには体験性や多様な魅力の発信も強化が望ましいです。

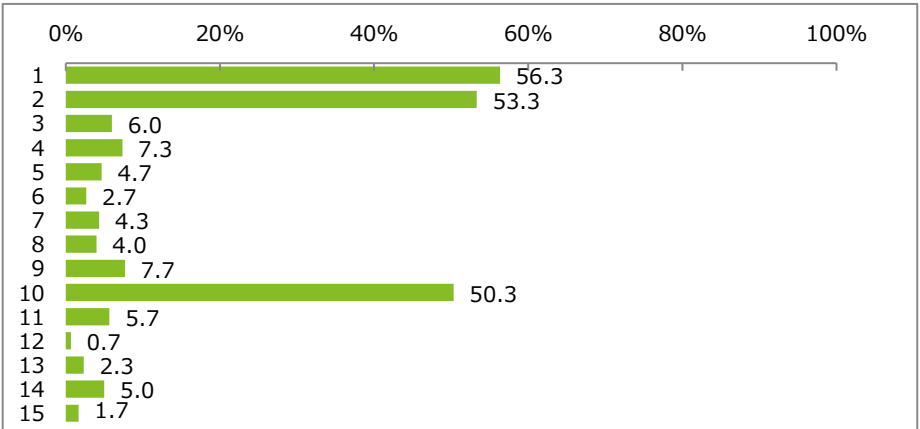
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 ショッピング施設が豊富である	93	46.5
2 飲食店が豊富である	74	37.0
3 観光名所が豊富である	36	18.0
4 レジャー施設が豊富である	30	15.0
5 スポーツ・文化施設が豊富である	19	9.5
6 街を挙げたイベントが多様である	23	11.5
7 自然環境が豊かである	31	15.5
8 ごみがなく、街並みがきれいである	25	12.5
9 国際色が豊かである	22	11.0
10 交通の利便性が高い	51	25.5
11 治安が確保されている	17	8.5
12 防災対策が整備されている	12	6.0
13 誰にとっても歩きやすい道路環境が確保されている	2	1.0
14 街の情報が得やすい	3	1.5
15 その他：	2	1.0



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 ショッピング施設が豊富である	169	56.3
2 飲食店が豊富である	160	53.3
3 観光名所が豊富である	18	6.0
4 レジャー施設が豊富である	22	7.3
5 スポーツ・文化施設が豊富である	14	4.7
6 街を挙げたイベントが多様である	8	2.7
7 自然環境が豊かである	13	4.3
8 ごみがなく、街並みがきれいである	12	4.0
9 国際色が豊かである	23	7.7
10 交通の利便性が高い	151	50.3
11 治安が確保されている	17	5.7
12 防災対策が整備されている	2	0.7
13 誰にとっても歩きやすい道路環境が確保されている	7	2.3
14 街の情報が得やすい	15	5.0
15 その他：	5	1.7



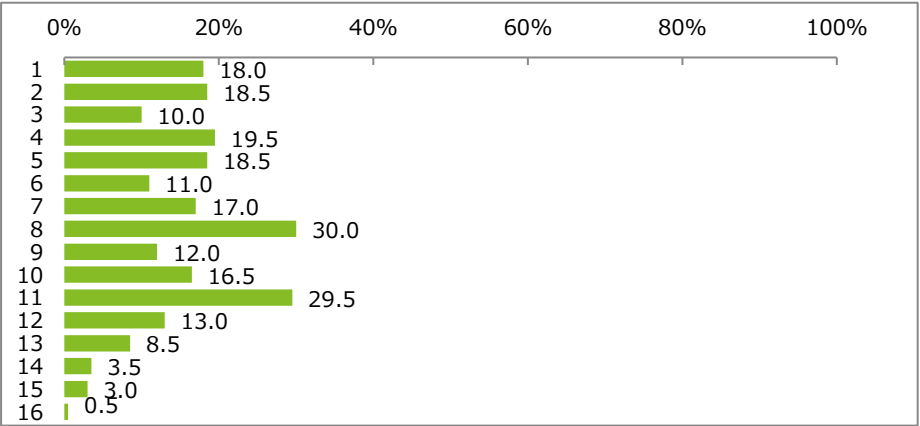
Q11. あなたは、どのような条件が整えば新宿区へ今後より一層訪れたくなりますか。当てはまるものを、3つまで選んでください（3つまで）

定住意向（単純集計）

■ 在学者は「ごみがなく、街並みがきれいである」60人（30.0%）、「治安が確保されている」59人（29.5%）が最上位で、在勤者でも「治安が確保されている」113人（37.7%）が最多、「ショッピング施設が豊富である」85人（28.3%）と「ごみがなく、街並みがきれいである」85人（28.3%）が続きます。両者とも安全性と清潔感の改善ニーズが強いため、総合計画では、防犯・美化を重要施策に位置付けることが重要です。

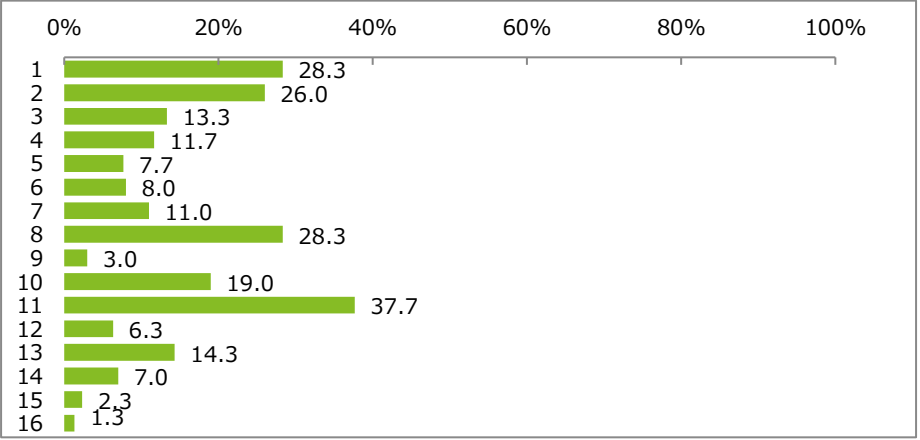
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 ショッピング施設が豊富である	36	18.0
2 飲食店が豊富である	37	18.5
3 観光名所が豊富である	20	10.0
4 レジャー施設が豊富である	39	19.5
5 スポーツ・文化施設が豊富である	37	18.5
6 街を挙げたイベントが多様である	22	11.0
7 自然環境が豊かである	34	17.0
8 ごみがなく、街並みがきれいである	60	30.0
9 国際色が豊かである	24	12.0
10 交通の利便性が高い	33	16.5
11 治安が確保されている	59	29.5
12 防災対策が整備されている	26	13.0
13 誰にとっても歩きやすい道路環境が確保されている	17	8.5
14 街の情報が得やすい	7	3.5
15 子育てしやすい環境が充実する	6	3.0
16 その他：	1	0.5



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 ショッピング施設が豊富である	85	28.3
2 飲食店が豊富である	78	26.0
3 観光名所が豊富である	40	13.3
4 レジャー施設が豊富である	35	11.7
5 スポーツ・文化施設が豊富である	23	7.7
6 街を挙げたイベントが多様である	24	8.0
7 自然環境が豊かである	33	11.0
8 ごみがなく、街並みがきれいである	85	28.3
9 国際色が豊かである	9	3.0
10 交通の利便性が高い	57	19.0
11 治安が確保されている	113	37.7
12 防災対策が整備されている	19	6.3
13 誰にとっても歩きやすい道路環境が確保されている	43	14.3
14 街の情報が得やすい	21	7.0
15 子育てしやすい環境が充実する	7	2.3
16 その他：	4	1.3



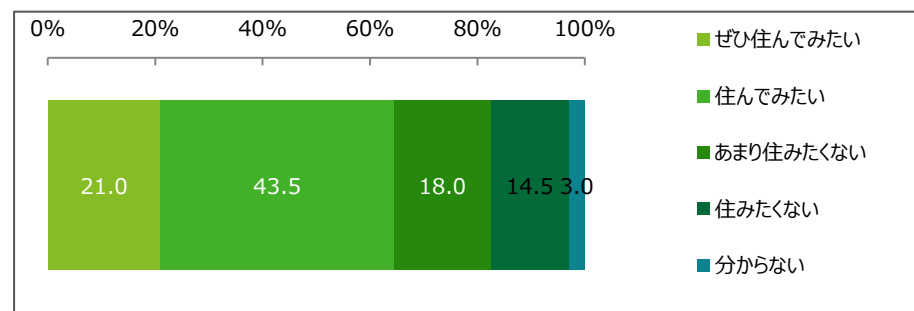
Q12. あなたは将来的に新宿区に住んでみたいと考えますか。当てはまるものを1つだけ選んでください

定住意向（単純集計）

- 在学者は「ぜひ住んでみたい」42人（21.0%）と「住んでみたい」87人（43.5%）の計64.5%が前向きであるのに対し、在勤者は「ぜひ住んでみたい」41人（13.7%）と「住んでみたい」68人（22.7%）の計36.4%にとどまり、「あまり住みたくない」70人（23.3%）、「住みたくない」97人（32.3%）の計55.6%が否定的です。総合計画では、将来の定住層として在学者を取り込む視点と、在勤者の居住抵抗感を下げる住環境改善の両方が必要です。

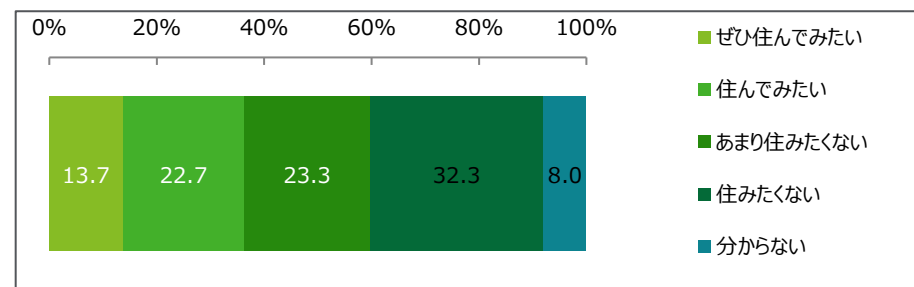
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 ぜひ住んでみたい	42	21.0
2 住んでみたい	87	43.5
3 あまり住みたくない	36	18.0
4 住みたくない	29	14.5
5 分からない	6	3.0



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 ぜひ住んでみたい	41	13.7
2 住んでみたい	68	22.7
3 あまり住みたくない	70	23.3
4 住みたくない	97	32.3
5 分からない	24	8.0



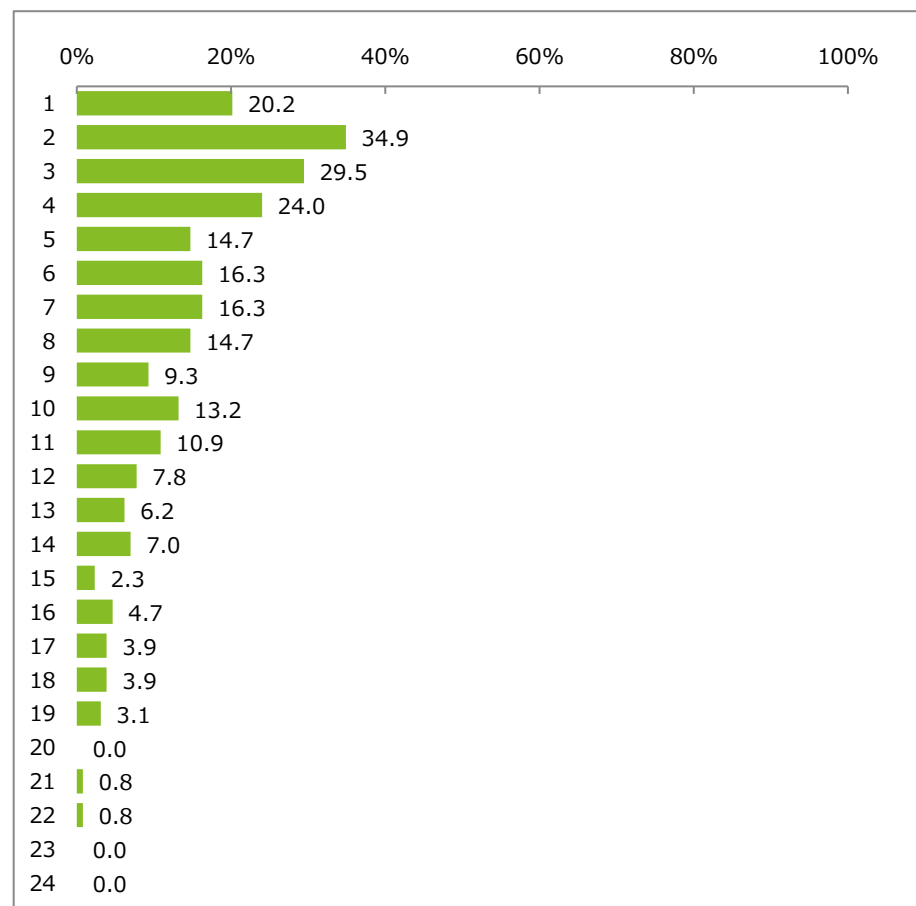
Q13. あなたは、なぜ新宿区を転入先として考えていますか。当てはまるものを、3つまで選んでください（3つまで）

定住意向（単純集計）（在学者）

- 「交通の便が良い」45人（34.9%）、「勤務先・通学先が近い」38人（29.5%）、「買い物などに便利である」31人（24.0%）が上位です。在学者は「子育て環境が充実している」21人（16.3%）、「教育環境が充実している」21人（16.3%）も一定数あります。総合計画では、在学者の将来定住を見据えた教育・子育ての見せ方も有効です。

（在学者：n=200）

	n	%
全体	129	100.0
1 家賃や広さなど条件が適している	26	20.2
2 交通の便が良い	45	34.9
3 勤務先・通学先が近い	38	29.5
4 買い物などに便利である	31	24.0
5 遊びなど余暇活動に便利である	19	14.7
6 子育て環境が充実している	21	16.3
7 教育環境が充実している	21	16.3
8 スポーツ施設が充実している	19	14.7
9 文化施設が充実している	12	9.3
10 福祉施設が充実している	17	13.2
11 医療機関が充実している	14	10.9
12 商売や事業に有利だから	10	7.8
13 自然豊かな環境である	8	6.2
14 騒音のない静かな環境である	9	7.0
15 街並みなど景観が良い	3	2.3
16 公園や憩いの場が充実している	6	4.7
17 地域活動や隣近所との交流が盛んである	5	3.9
18 災害や犯罪などへの不安が少ない	5	3.9
19 雇用機会が充実している	4	3.1
20 就労支援が充実している	0	0.0
21 新宿区のイメージが良い	1	0.8
22 過去に住んでいた	1	0.8
23 親族が新宿区に住んでいる	0	0.0
24 その他：	0	0.0



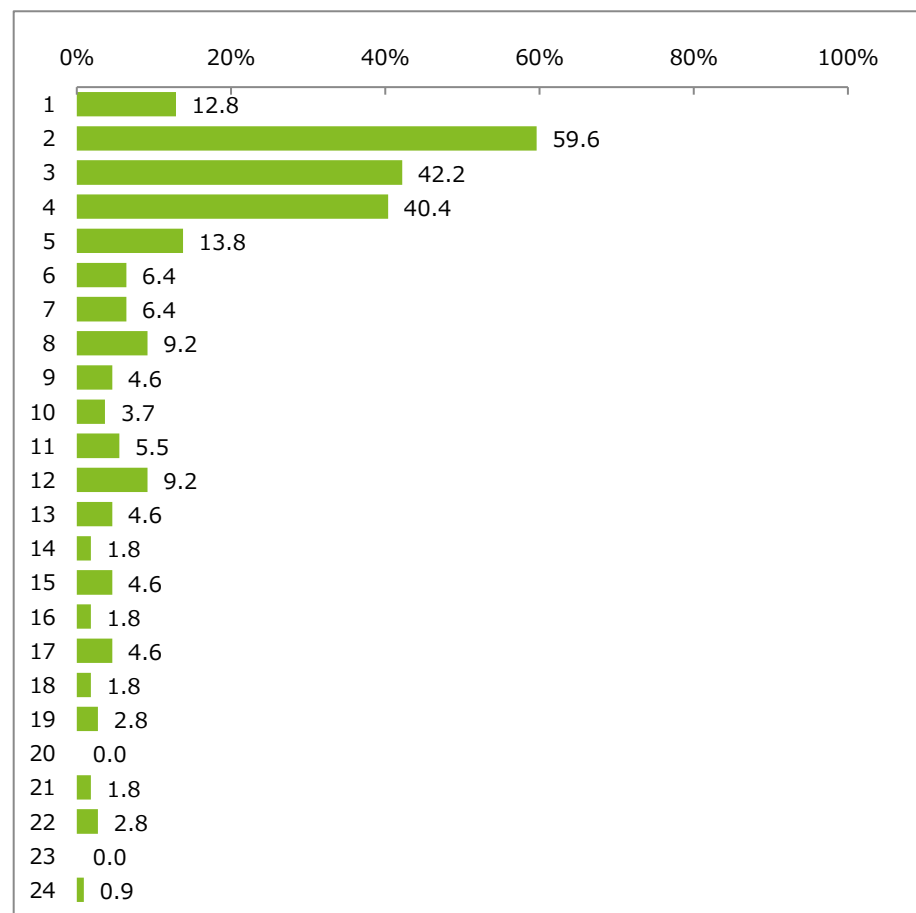
Q13. あなたは、なぜ新宿区を転入先として考えていますか。当てはまるものを、3つまで選んでください（3つまで）

定住意向（単純集計）（在勤者）

- 「交通の便が良い」65人（59.6%）、「勤務先・通学先が近い」46人（42.2%）、「買い物などに便利である」44人（40.4%）が上位です。在勤者は生活の機能性を強く求める傾向がみられます。総合計画では、交通・近接性・買い物利便を核とした施策が有効です。

（在勤者：n=300）

	n	%
全体	109	100.0
1 家賃や広さなど条件が適している	14	12.8
2 交通の便が良い	65	59.6
3 勤務先・通学先が近い	46	42.2
4 買い物などに便利である	44	40.4
5 遊びなど余暇活動に便利である	15	13.8
6 子育て環境が充実している	7	6.4
7 教育環境が充実している	7	6.4
8 スポーツ施設が充実している	10	9.2
9 文化施設が充実している	5	4.6
10 福祉施設が充実している	4	3.7
11 医療機関が充実している	6	5.5
12 商売や事業に有利だから	10	9.2
13 自然豊かな環境である	5	4.6
14 騒音のない静かな環境である	2	1.8
15 街並みなど景観が良い	5	4.6
16 公園や憩いの場が充実している	2	1.8
17 地域活動や隣近所との交流が盛んである	5	4.6
18 災害や犯罪などへの不安が少ない	2	1.8
19 雇用機会が充実している	3	2.8
20 就労支援が充実している	0	0.0
21 新宿区のイメージが良い	2	1.8
22 過去に住んでいた	3	2.8
23 親族が新宿区に住んでいる	0	0.0
24 その他：	1	0.9



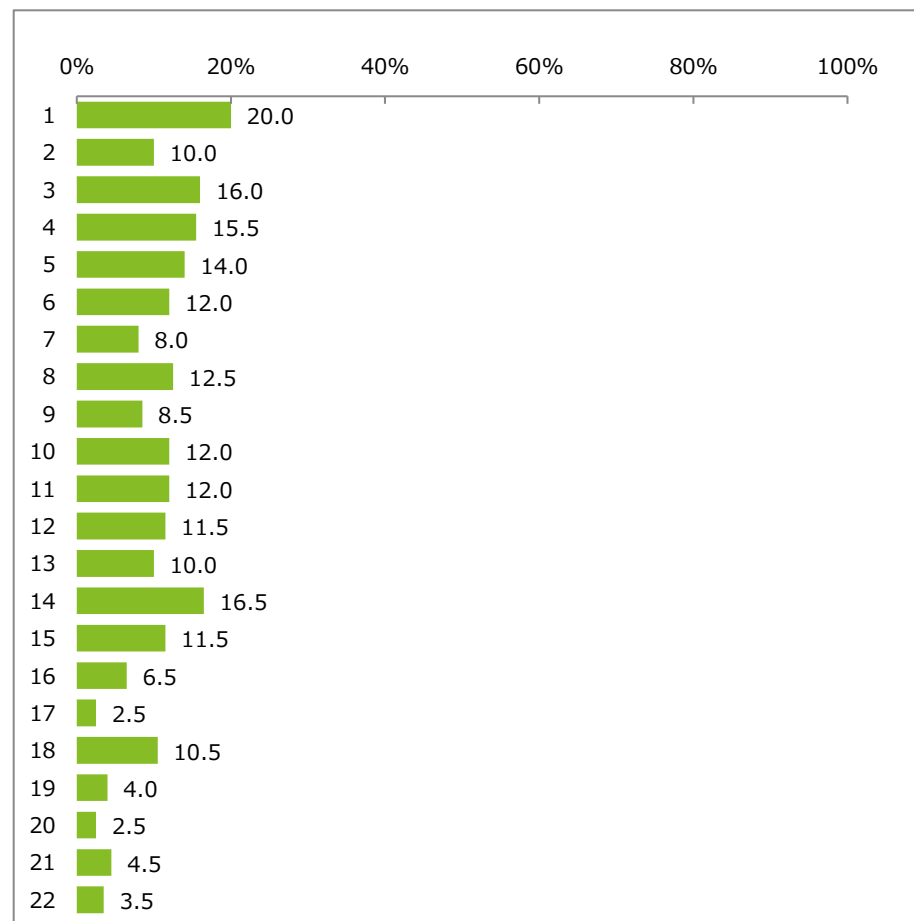
Q14. あなたは、どのような条件が整えば新宿区への転入を希望しますか。当てはまるものを、3つまで選んでください（3つまで）

定住意向（単純集計）（在学者）

- 「家賃や広さなど条件が良くなること」40人（20.0%）が最多ですが、「騒音のない静かな環境が整備されること」33人（16.5%）、「勤務先・通学先に近くなること」32人（16.0%）、「買い物などが便利になること」31人（15.5%）などにも分散しています。総合計画では、住宅条件に加え、通いやすさ・静けさ・日常利便のバランス改善が求められます。

（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 家賃や広さなど条件が良くなること	40	20.0
2 交通の便が良くなること	20	10.0
3 勤務先・通学先に近くなること	32	16.0
4 買い物などが便利になること	31	15.5
5 遊びなど余暇活動が行いやすくなること	28	14.0
6 子育て環境が充実すること	24	12.0
7 教育環境が充実すること	16	8.0
8 スポーツ施設が充実すること	25	12.5
9 文化施設が充実すること	17	8.5
10 福祉施設が充実すること	24	12.0
11 医療機関が充実すること	24	12.0
12 商売や事業が有利となること	23	11.5
13 自然豊かな環境が整備されること	20	10.0
14 騒音のない静かな環境が整備されること	33	16.5
15 街並みなど、美しい景観が整備されること	23	11.5
16 公園や憩いの場が充実すること	13	6.5
17 地域活動や隣近所との交流が盛んになること	5	2.5
18 災害や犯罪などへの不安が少なくなること	21	10.5
19 雇用機会が充実すること	8	4.0
20 就労支援が充実すること	5	2.5
21 新宿区のイメージがアップすること	9	4.5
22 その他：	7	3.5



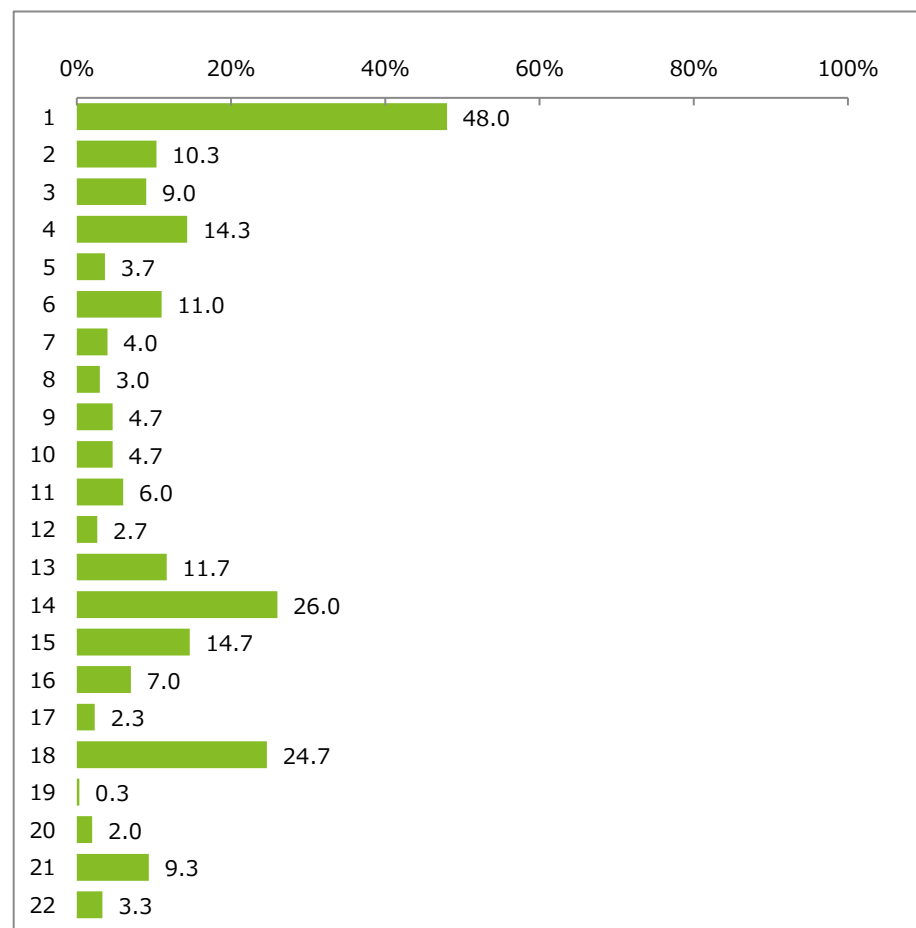
Q14. あなたは、どのような条件が整えば新宿区への転入を希望しますか。当てはまるものを、3つまで選んでください（3つまで）

定住意向（単純集計）（在勤者）

- 「家賃や広さなど条件が良くなること」144人（48.0%）が突出し、「騒音のない静かな環境が整備されること」78人（26.0%）、「災害や犯罪などへの不安が少なくなること」74人（24.7%）が続きます。総合計画では、住宅コストと生活環境改善に関連する施策を重点施策として位置付けることが大切です。

（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 家賃や広さなど条件が良くなること	144	48.0
2 交通の便が良くなること	31	10.3
3 勤務先・通学先に近くなること	27	9.0
4 買い物などが便利になること	43	14.3
5 遊びなど余暇活動が行いやすくなること	11	3.7
6 子育て環境が充実すること	33	11.0
7 教育環境が充実すること	12	4.0
8 スポーツ施設が充実すること	9	3.0
9 文化施設が充実すること	14	4.7
10 福祉施設が充実すること	14	4.7
11 医療機関が充実すること	18	6.0
12 商売や事業が有利となること	8	2.7
13 自然豊かな環境が整備されること	35	11.7
14 騒音のない静かな環境が整備されること	78	26.0
15 街並みなど、美しい景観が整備されること	44	14.7
16 公園や憩いの場が充実すること	21	7.0
17 地域活動や隣近所との交流が盛んになること	7	2.3
18 災害や犯罪などへの不安が少なくなること	74	24.7
19 雇用機会が充実すること	1	0.3
20 就労支援が充実すること	6	2.0
21 新宿区のイメージがアップすること	28	9.3
22 その他：	10	3.3



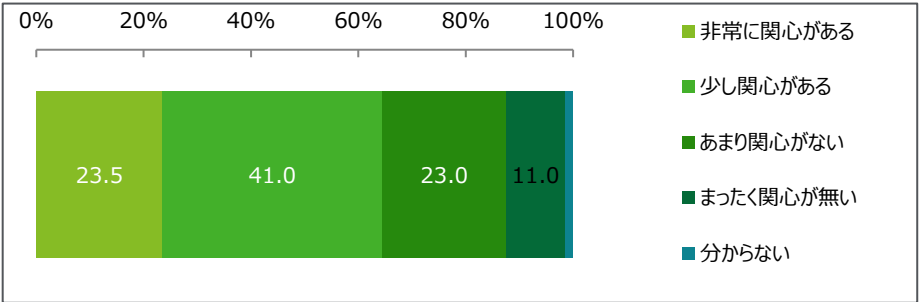
Q15. あなたは、新宿区の区政や地域活動にどの程度関心がありますか。当てはまるものを1つだけ選んでください

区政・地域活動への関心（単純集計）

■ 在学者は「非常に関心がある」47人（23.5%）と「少し関心がある」82人（41.0%）の計64.5%が関心ありで、在勤者の「非常に関心がある」43人（14.3%）と「少し関心がある」86人（28.7%）の計43.0%を大きく上回ります。総合計画では、在学者は参加の受け皿拡充、在勤者は関心喚起そのものを強める段階と考えられます。

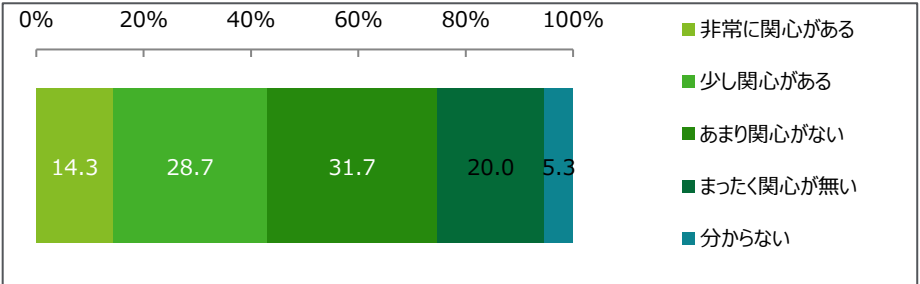
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 非常に関心がある	47	23.5
2 少し関心がある	82	41.0
3 あまり関心がない	46	23.0
4 まったく関心が無い	22	11.0
5 分からない	3	1.5



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 非常に関心がある	43	14.3
2 少し関心がある	86	28.7
3 あまり関心がない	95	31.7
4 まったく関心が無い	60	20.0
5 分からない	16	5.3



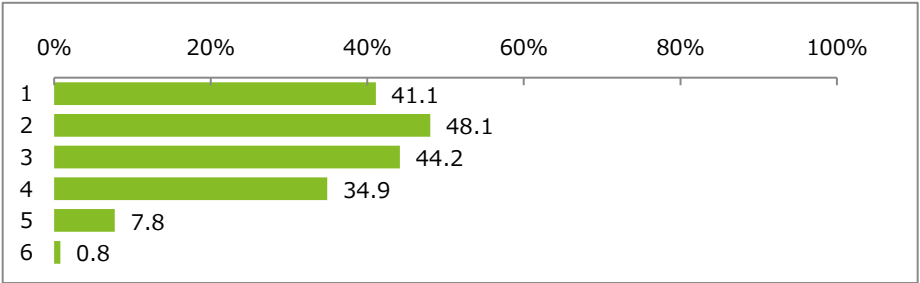
Q16-1. あなたが新宿区の区政や地域活動に関心があるのは、どのような理由からですか。当てはまるものを3つまで選んでください（3つまで）

区政・地域活動への関心（単純集計）

■ 在学者は「新宿区に愛着があるから」62人（48.1%）、「新聞やテレビ、インターネットなどで」57人（44.2%）、「生活と密接な関係があるから」53人（41.1%）が上位です。一方、在勤者は「生活と密接な関係があるから」70人（54.3%）、「新宿区に愛着があるから」65人（50.4%）が中心です。総合計画では、区政や地域活動について、情報接触機会を増やすことや日常生活との関係性を明確に伝えることで、より関心度合いを高めることが期待されます。

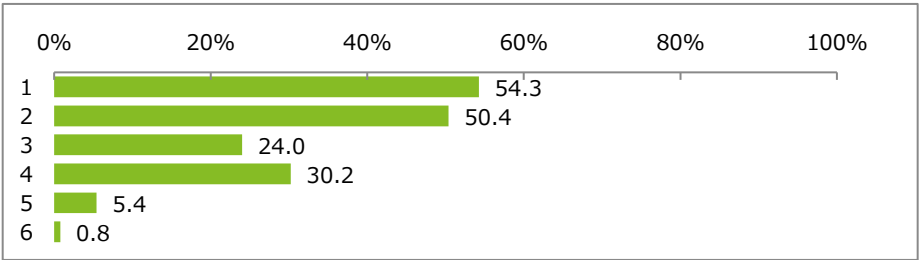
（在学者：n=129） ※設問15で「非常に関心がある」、「少し関心がある」と回答した方のみ回答

	n	%
全体	129	100.0
1 生活と密接な関係があるから	53	41.1
2 新宿区に愛着があるから	62	48.1
3 新聞やテレビ、インターネットなどで	57	44.2
4 新宿区に関する情報によく接するから	45	34.9
5 国や地方の政治に関心があるから	10	7.8
6 その他：	1	0.8



（在勤者：n=129） ※設問15で「非常に関心がある」、「少し関心がある」と回答した方のみ回答

	n	%
全体	129	100.0
1 生活と密接な関係があるから	70	54.3
2 新宿区に愛着があるから	65	50.4
3 新聞やテレビ、インターネットなどで	31	24.0
4 新宿区に関する情報によく接するから	39	30.2
5 国や地方の政治に関心があるから	7	5.4
6 その他：	1	0.8



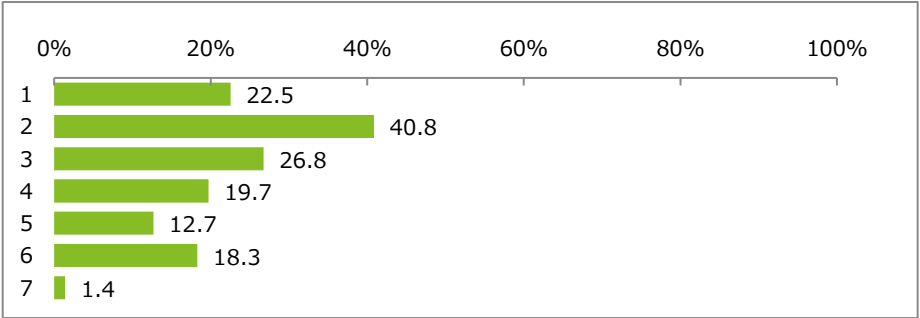
Q16-2. あなたが新宿区の区政や地域活動に関心がないのは、どのような理由からですか。当てはまるものを3つまで選んでください（3つまで）

区政・地域活動への関心（単純集計）

■ 在学者は「新宿区に愛着がないから」29人（40.8%）、「区政がわかりにくいから」19人（26.8%）、「生活にあまり関係がないから」16人（22.5%）が上位で、在勤者は「生活にあまり関係がないから」75人（43.9%）、「特に不便や不満がないから」56人（32.7%）、「新宿区に愛着がないから」44人（25.7%）が上位です。総合計画では、在学者には愛着形成とわかりやすい区政説明、在勤者には“自分ごと化”できる具体的な情報発信が必要です。

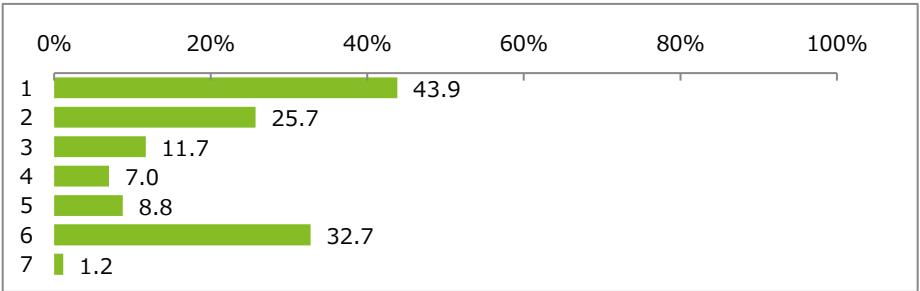
（在学者：n=71） ※設問15で「あまり関心がない」、「まったく関心がない」、「分からない」と回答した方のみ回答

	n	%
全体	71	100.0
1 生活にあまり関係がないから	16	22.5
2 新宿区に愛着がないから	29	40.8
3 区政がわかりにくいから	19	26.8
4 国や地方の政治に関心がないから	14	19.7
5 忙しくて考える暇がないから	9	12.7
6 特に不便や不満がないから	13	18.3
7 その他：	1	1.4



（在勤者：n=171） ※設問15で「あまり関心がない」、「まったく関心がない」、「分からない」と回答した方のみ回答

	n	%
全体	171	100.0
1 生活にあまり関係がないから	75	43.9
2 新宿区に愛着がないから	44	25.7
3 区政がわかりにくいから	20	11.7
4 国や地方の政治に関心がないから	12	7.0
5 忙しくて考える暇がないから	15	8.8
6 特に不便や不満がないから	56	32.7
7 その他：	2	1.2



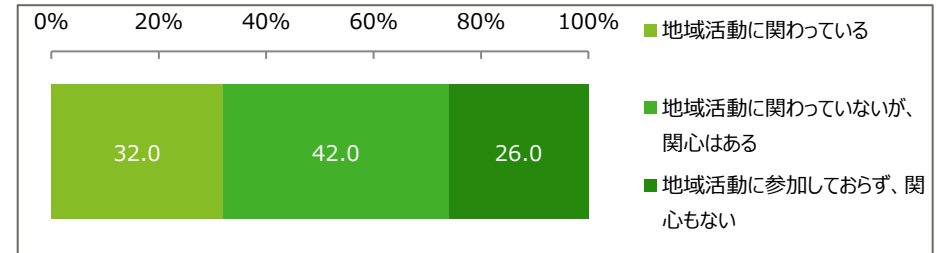
Q17. あなたは、新宿区において地域活動に関わっているまたは関心がありますか。当てはまるものを1つだけ選んでください

区政・地域活動への関心（単純集計）

- 在学者は「地域活動に関わっている」64人（32.0%）、「地域活動に関わっていないが、関心はある」84人（42.0%）で、計74.0%が関与または関心を示しています。一方、在勤者は同計42.3%にとどまり、「地域活動に参加しておらず、関心もない」が173人（57.7%）と過半数です。総合計画では、在学者は実践の場づくり、在勤者は参加ハードルを下げる導線整備が重要です。

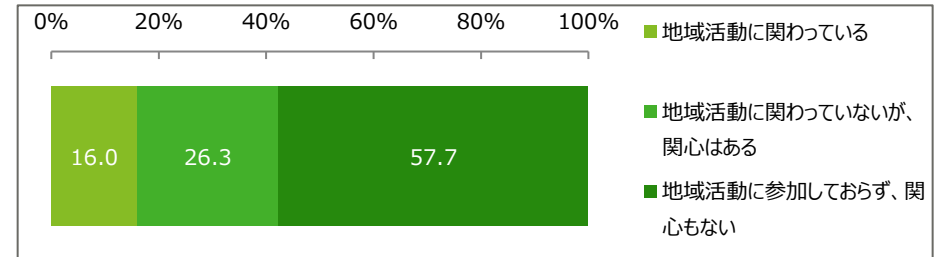
（在学者：n=200）

		n	%
	全体	200	100.0
1	地域活動に関わっている	64	32.0
2	地域活動に関わっていないが、関心はある	84	42.0
3	地域活動に参加しておらず、関心もない	52	26.0



（在勤者：n=300）

		n	%
	全体	300	100.0
1	地域活動に関わっている	48	16.0
2	地域活動に関わっていないが、関心はある	79	26.3
3	地域活動に参加しておらず、関心もない	173	57.7

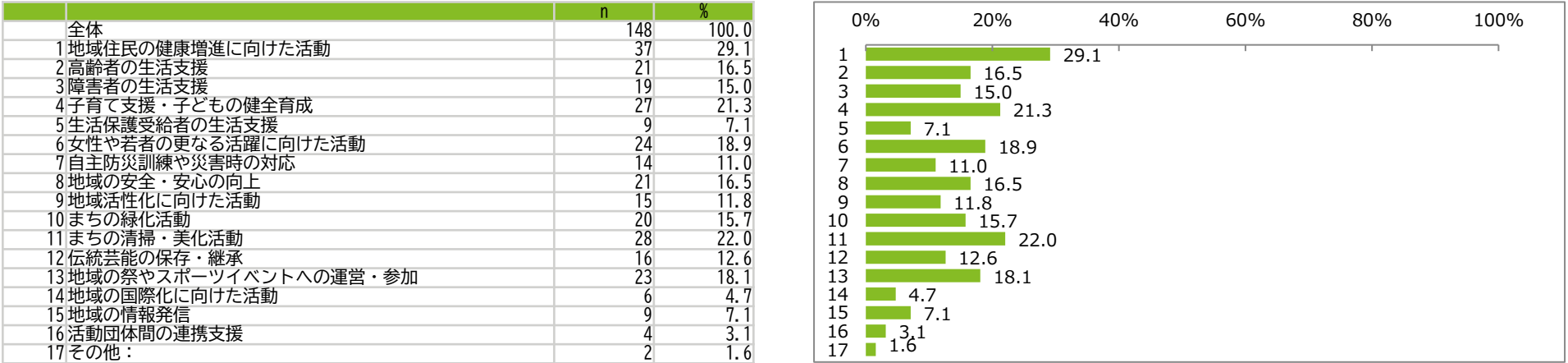


Q18. あなたはどのような地域活動に関わっていますか。または、関わりたしたらどのような活動に関わってみたいですか。当てはまるものをすべて選んでください（いくつでも）

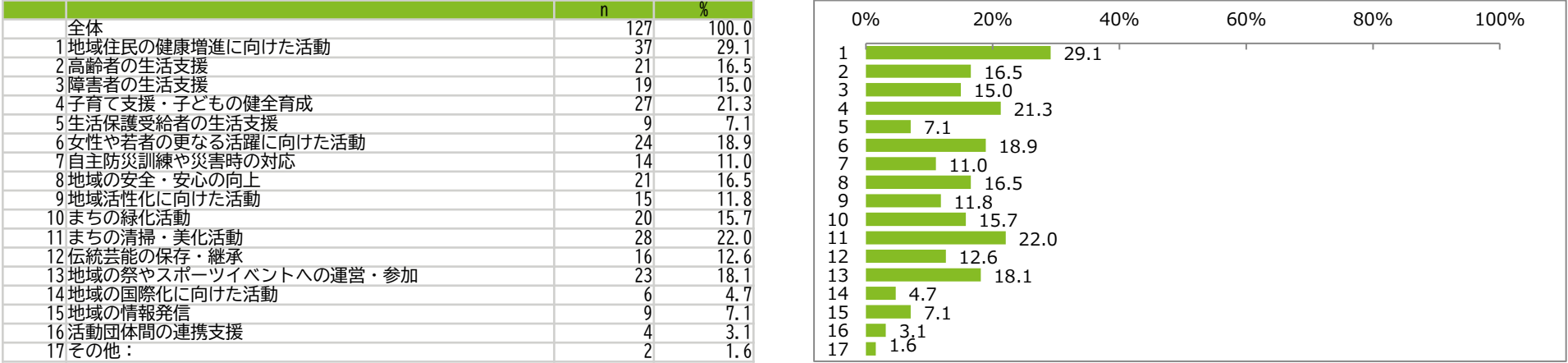
区政・地域活動への関心（単純集計）

■ 在学者は「女性や若者の更なる活躍に向けた活動」35人（23.6%）、「地域住民の健康増進に向けた活動」34人（23.0%）が高く、在勤者は「地域住民の健康増進に向けた活動」37人（29.1%）、「まちの清掃・美化活動」28人（22.0%）、「子育て支援・子どもの健全育成」27人（21.3%）が上位です。総合計画では、在学者向けには若者活躍や福祉系、在勤者向けには健康・美化・子育て系など、関心分野に応じた参加メニューを用意すると効果的です。

（在学者：n=148） ※設問17で「地域活動に関わっている」、「地域活動に関わっていないが、関心はある」と回答した方のみ回答



（在勤者：n=127） ※設問17で「地域活動に関わっている」、「地域活動に関わっていないが、関心はある」と回答した方のみ回答



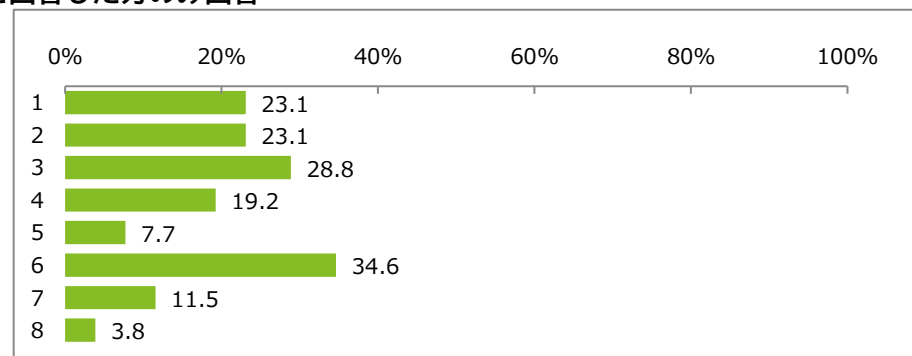
Q19. あなたが今後新宿区の区政や地域活動により一層参加していく上で必要な条件として、当てはまるものを3つまで選んでください（3つまで）

区政・地域活動への関心（単純集計）

- 「地域活動に参加しておらず、関心もない」層に限ると、在学者は「ポイント制度を導入する」18人（34.6%）、「作業内容や参加条件を軽くする」15人（28.8%）が上位で、在勤者も「ポイント制度を導入する」72人（41.6%）が最も高く、「活動に関する情報提供を充実させる」50人（28.9%）、「時間的負担を軽くする（短時間の活動）」45人（26.0%）が続きます。総合計画では、インセンティブ付与、短時間参加、参加障壁の低減の3点が共通の鍵です。

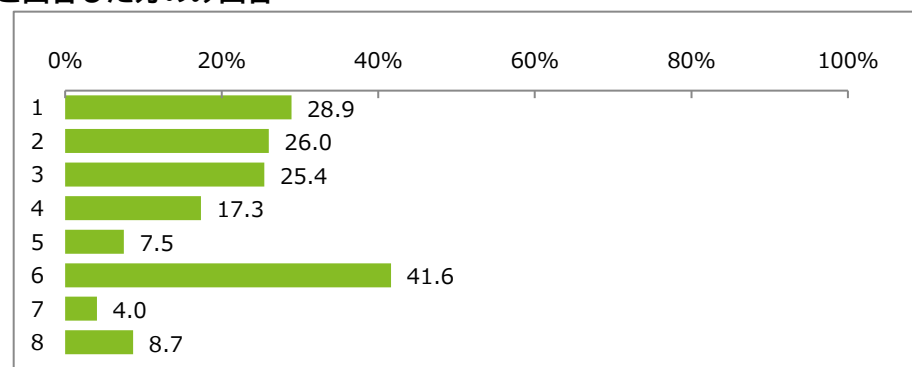
（在学者：n=52） ※設問17で「地域活動に参加しておらず、関心もない」と回答した方のみ回答

	n	%
全体	52	100.0
1 活動に関する情報提供を充実させる	12	23.1
2 時間的負担を軽くする（短時間の活動）	12	23.1
3 作業内容や参加条件を軽くする	15	28.8
4 曜日や時間帯へ配慮する	10	19.2
5 登録制度を導入する	4	7.7
6 ポイント制度を導入する	18	34.6
7 託児や手話通訳、出張介護などのサービスを提供する	6	11.5
8 その他：	2	3.8



（在勤者：n=173） ※設問17で「地域活動に参加しておらず、関心もない」と回答した方のみ回答

	n	%
全体	173	100.0
1 活動に関する情報提供を充実させる	50	28.9
2 時間的負担を軽くする（短時間の活動）	45	26.0
3 作業内容や参加条件を軽くする	44	25.4
4 曜日や時間帯へ配慮する	30	17.3
5 登録制度を導入する	13	7.5
6 ポイント制度を導入する	72	41.6
7 託児や手話通訳、出張介護などのサービスを提供する	7	4.0
8 その他：	15	8.7



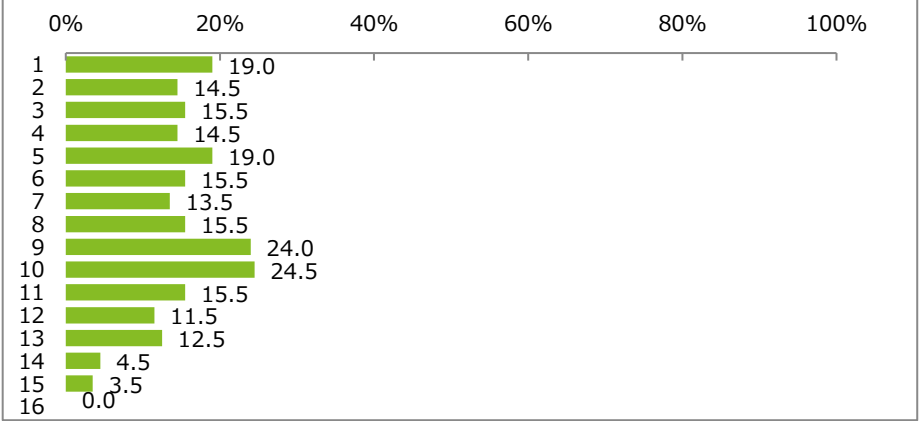
Q20. 今後の新宿区のまちづくりにおいて、どのようなことに力をいれれば区民の幸福感が向上すると思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください（3つまで）

区政・地域活動への関心（単純集計）

■ 在学者は「街並みなど、美しい景観が整備されること」49人（24.5%）、「騒音のない静かな環境が整備されること」48人（24.0%）が上位で、在勤者は「災害や犯罪などへの不安が少なくなること」95人（31.7%）、「街並みなど、美しい景観が整備されること」89人（29.7%）が上位です。総合計画では、防犯・防災と景観・静穏性の両立を柱に据えることが求められます。

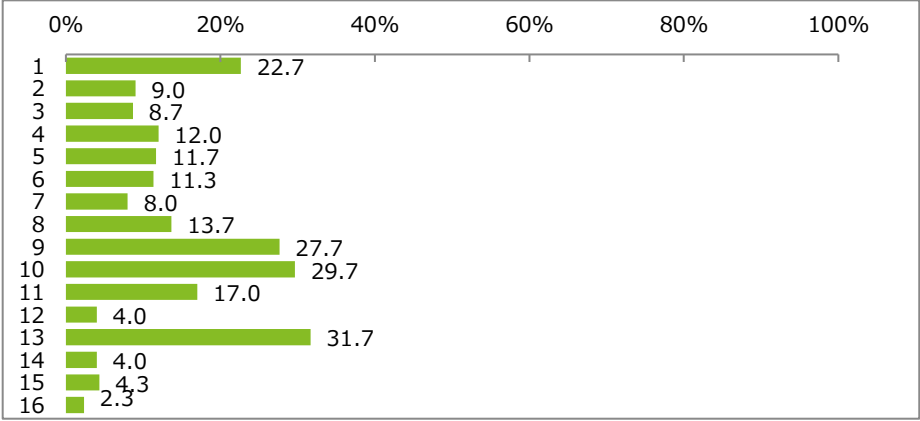
（在学者：n=200）

	n	%
全体	200	100.0
1 子育て環境が充実すること	38	19.0
2 教育環境が充実すること	29	14.5
3 スポーツ施設が充実すること	31	15.5
4 文化施設が充実すること	29	14.5
5 福祉施設が充実すること	38	19.0
6 医療機関が充実すること	31	15.5
7 商売や事業が有利となること	27	13.5
8 自然豊かな環境が整備されること	31	15.5
9 騒音のない静かな環境が整備されること	48	24.0
10 街並みなど、美しい景観が整備されること	49	24.5
11 公園や憩いの場が充実すること	31	15.5
12 地域活動や隣近所との交流が盛んになること	23	11.5
13 災害や犯罪などへの不安が少なくなること	25	12.5
14 雇用機会が充実すること	9	4.5
15 就労支援が充実すること	7	3.5
16 その他：	0	0.0



（在勤者：n=300）

	n	%
全体	300	100.0
1 子育て環境が充実すること	68	22.7
2 教育環境が充実すること	27	9.0
3 スポーツ施設が充実すること	26	8.7
4 文化施設が充実すること	36	12.0
5 福祉施設が充実すること	35	11.7
6 医療機関が充実すること	34	11.3
7 商売や事業が有利となること	24	8.0
8 自然豊かな環境が整備されること	41	13.7
9 騒音のない静かな環境が整備されること	83	27.7
10 街並みなど、美しい景観が整備されること	89	29.7
11 公園や憩いの場が充実すること	51	17.0
12 地域活動や隣近所との交流が盛んになること	12	4.0
13 災害や犯罪などへの不安が少なくなること	95	31.7
14 雇用機会が充実すること	12	4.0
15 就労支援が充実すること	13	4.3
16 その他：	7	2.3



Q21. 現在の新宿区はどのようなまちだと思いますか（例：新宿の好きな点、改善すべき点など）（自由記述）

自由記述回答の分類（在学者）

■ 上記設問に対して、主な回答を抜粋し、分野ごとに整理しました

No.	分野	回答
1	防災、安全・安心	歌舞伎町や新大久保のあたりは治安に心配がある。そういった街には進んで住もうと思わないので、通う街だなという印象
2		違法客引など、治安が悪い
3		繁華街の治安は改善必要
5		治安や環境などの不安もあり暮らしたいとは思えない
6	環境	空気が悪い
7	生活環境	街にゴミが落ちている
8	コミュニティ、多文化共生	色々な国の人がいる
9		自由な街 どんな人がいても受け入れてもらえる雑多な好きなまち
10	産業振興	飲食店やファッションなど何でも揃っている
11		東京を代表する街で、雑多な印象。商業施設や飲食店などが多く楽しめるまち
12	都市基盤・ユニバーサルデザイン	ターミナル駅なので交通の便がいい。 新宿駅から近くの駅までが近いので、少し歩けば全く違う雰囲気に出会えて気分転換になる
13		駅がいつも混雑している
14		駅の構造が複雑で乗り換えや待ち合わせなどでいつも迷ってしまいストレスだ
15		利便性が高く、住むにも通勤するにも良い
16		公共交通機関や施設など充実していてとても良い
17		イベントが多く、公園も多い。何でも便利なまちだと思う

Q21. 現在の新宿区はどのようなまちだと思いますか（例：新宿の好きな点、改善すべき点など）（自由記述）

自由記述回答の分類（在勤者）

■ 上記設問に対して、主な回答を抜粋し、分野ごとに整理しました

No.	分野	回答
1	子育て支援	ショッピングや飲食店に困らない、にぎやかで多国籍なまち。友達と遊ぶなら新宿。もう少し綺麗で、落ち着いて、治安も良くなれば、子どもを連れて行けるかな、と思う。子どもの遊べる施設があれば嬉しい
2	防災、安全・安心	なんでも揃っていて便利、交通の利便性もよい。ただ人が多く、騒がしく感じることもある。防犯を徹底してほしい
3		治安に不安があるため、そこが解消されると良いと思う
4		下水道から夏になると悪臭がするので改善して欲しい
5	生活環境	買い物に便利なまちだと思う。改善すべき点は、道路などに、ゴミが多いところだと思う
6	産業振興	思い出横丁などいい意味で古き良き時代を大事にしている
7	観光	人の流れが多すぎて、歩きにくい。観光客と住民のバランスが悪い
8		外国人観光客が増えて以降、まち全体が以前にまして汚くなった。環境整備、来訪客をどう扱うかをしっかり考えるべきだと思う
9	生涯学習、スポーツ	図書館など無料で使用出来る施設を増やして欲しい
10	都市基盤・ユニバーサルデザイン	人の導線を考慮した地下と地上通路の整備・改善をして欲しい
11	みどり	都会の割には自然もきれい。交通の便も良い

Q22. 将来、新宿区をどのようなまちになってほしいと思いますか（自由記述）

自由記述回答の分類（在学者）

■ 上記設問に対して、主な回答を抜粋し、分野ごとに整理しました

	分野	回答
1	子育て支援	子育てのしやすいまち
2		日本の最先端として、働きやすく子育てしやすいまちになってほしい
3	障害者	障害者が働きやすい、幅広い方々が参加できるまちになってほしい
4	防災、安全・安心	犯罪が無く楽しく安心して過ごせる街になってほしい
5		賑やかな場所だけでなく、治安の良い公園や広場などのどかな場所ができて欲しい
6		繁華街の治安が改善され、まちが綺麗になってほしい
7		安全・安心を目標に治安のいいまちになってくれると気軽に遊びに行きやすくなる
8	生活環境	清潔感のあるまち、穏やかなまち
9		キレイなまち
10	環境	駅前の開発は大いに期待するが、自然環境との両立も期待している
11	コミュニティ、多文化共生	清潔感や治安の良さもありつつ、排除ではなく思いやりや譲り合いもある街
12	都市基盤・ユニバーサルデザイン	歩きやすいまち
13		老若男女が過ごしやすいまち
14	みどり	美しい街並みと綺麗な公園
15		緑豊かな街

Q22. 将来、新宿区をどのようなまちになってほしいと思いますか（自由記述）

自由記述回答の分類（在勤者）

■ 上記設問に対して、主な回答を抜粋し、分野ごとに整理しました

	分野	回答
1	子育て支援	子育て世帯が多く、東京都で一番子育てのしやすい区
2		子どもも安全に遊べるまち
3	若者支援・男女共同参画	女性が安心して暮らせるまち
4	防災、安全・安心	夜も安心して歩ける繁華街であってほしい
5		雑多な雰囲気はそのままが良いので、安心して暮らせたり滞在できるまち
6	生活環境	キレイなまち
7	コミュニティ、多文化共生	隣にどんな人が住んでるか分かる、お互いの顔が見えるまちになって欲しい
8	都市基盤・ユニバーサルデザイン	ベビーカーや子連れでも歩きやすいまち
9	産業振興	ビジネスが活発な街
10	観光	レジャーからビジネス等へのアクセスが良くなり、幅広い目的で訪れることができる、長時間の滞在が心地よいと思える街になってほしい
11	都市基盤・ユニバーサルデザイン	バリアフリーのまち
12		まちの一部は自転車でも走りやすいが、中心部は配慮が足りず走りづらいため、交通整備がされているまち
13	みどり	自然が多く安らげる場所がたくさんある
14		広場や公園など憩いの場所が多いまち

Q23～Q31. 次のそれぞれの項目の「満足度」について、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください

総合計画における満足度の分布（単純集計）（在学者）

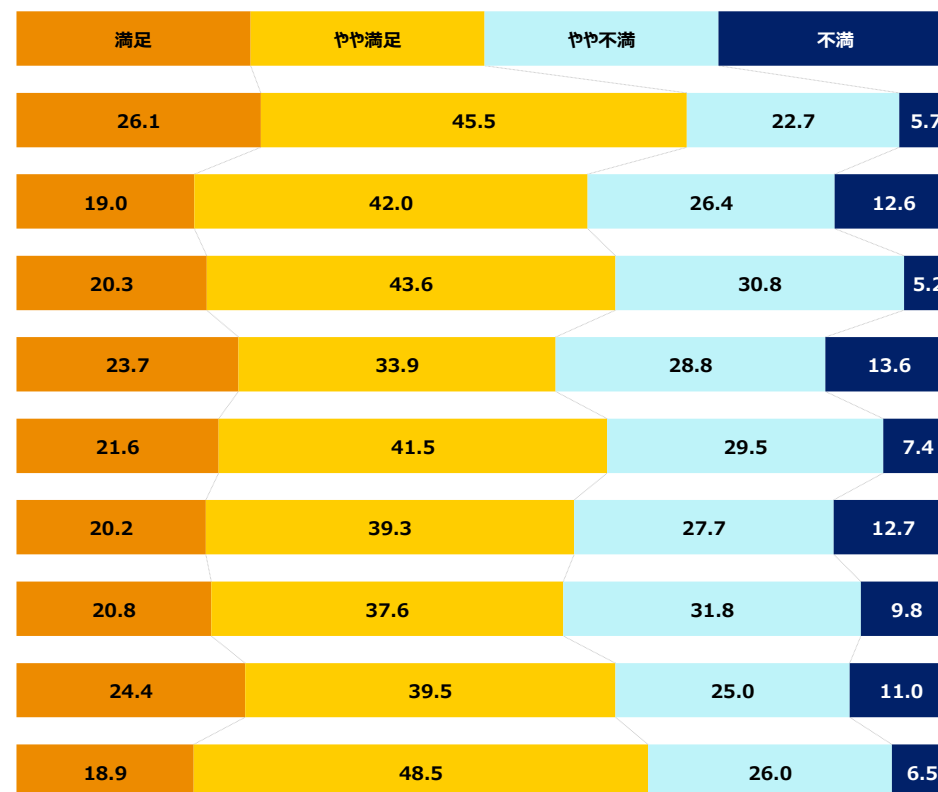
（暮らしやすさ1番の新宿）

- 福祉・地域支援分野では全体として肯定評価が高く、特に「生涯にわたり心身ともに健康で暮らせる健康寿命の延伸に向けた取組の充実」71.6%、「地域での生活を支える取組の推進」67.4%が高いです。総合計画ではこれらを新宿区の強みとして維持・発展させることが重要です。また、在学者は区政や地域活動への関心・参加意欲も高いため、こうした分野で在学者が実際に関わられる機会を増やすことが、将来的な定住意向や地域とのつながりの強化にもつながると考えられます。

（在学者：n=200）

※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です

- 生涯にわたり心身ともに健康で暮らせる健康寿命の延伸に向けた取組の充実（健康づくりの推進、生活習慣病予防、がん対策等）（n=176）
- 住み慣れた地域で暮らし続けられる地域包括ケアシステムの推進（高齢者相談、介護施設の整備、認知症予防等）（n=174）
- 障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備（障害者グループホームの設置促進、障害を理由とする差別の解消の推進等）（n=172）
- 安心できる子育て環境の整備（子育て支援サービスの充実、待機児童対策、学童クラブの整備等）（n=177）
- 未来を担う子どもたちの生きる力を伸ばす学校教育の充実（学校の教育力の向上、パソコン等を活用した授業の充実、不登校対策等）（n=176）
- セーフティネットの整備充実（生活困窮者の自立支援等）（n=173）
- 女性や若者が活躍できる地域づくりの推進（男女共同参画の推進、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進等）（n=173）
- 地域の課題を共有し、ともに考え、地域の実情に合ったまちづくりの推進（町会、自治会、NPO等地域活動団体への支援等）（n=172）
- 地域での生活を支える取組の推進（障害者、高齢者、若年非就業者の就労支援等）（n=169）



Q23～Q31. 次のそれぞれの項目の「満足度」について、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください

総合計画における満足度の分布（単純集計）（在勤者）

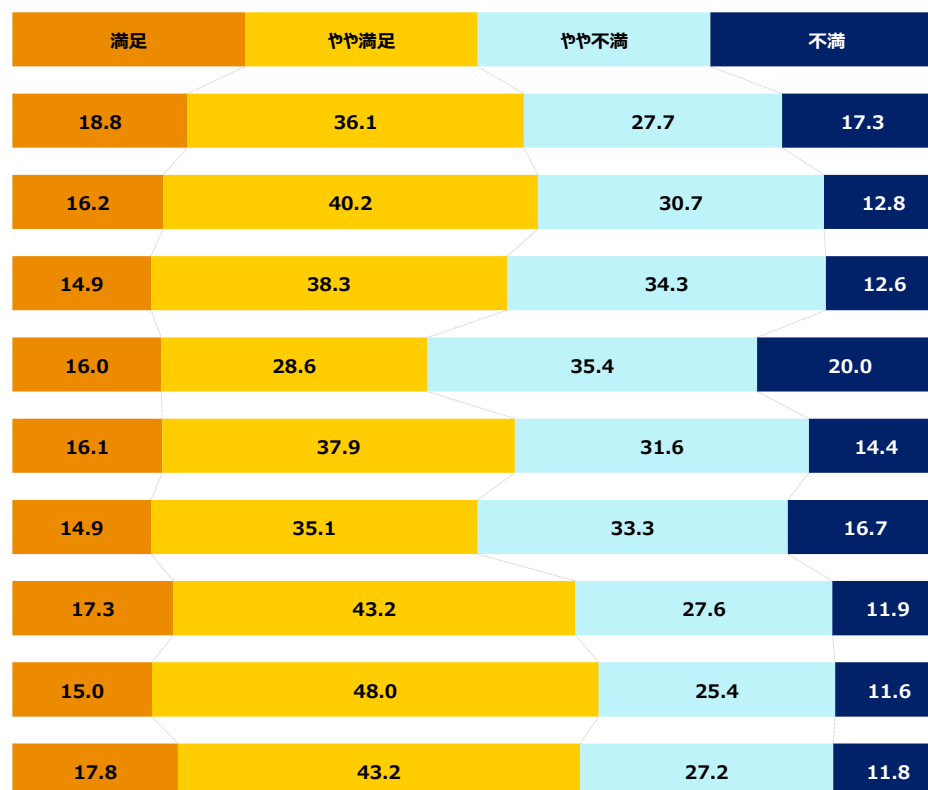
（暮らしやすさ1番の新宿）

- 「地域の課題を共有し、ともに考え、地域の実情に合ったまちづくりの推進」63.0%、「地域での生活を支える取組の推進」61.0%、「女性や若者が活躍できる地域づくりの推進」60.5%は比較的高い一方、「安心できる子育て環境の整備」のマイナス評価は55.4%となっています。在勤者に対しては、地域課題の共有や生活支援、女性・若者の活躍支援を継続しつつ、特に子育て環境の改善を重点課題として位置づけることが有効です。

（在勤者：n=300）

※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です

1. 生涯にわたり心身ともに健康で暮らせる健康寿命の延伸に向けた取組の充実（健康づくりの推進、生活習慣病予防、がん対策等）（n=191）
2. 住み慣れた地域で暮らし続けられる地域包括ケアシステムの推進（高齢者相談、介護施設の整備、認知症予防等）（n=179）
3. 障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備（障害者グループホームの設置促進、障害を理由とする差別の解消の推進等）（n=175）
4. 安心できる子育て環境の整備（子育て支援サービスの充実、待機児童対策、学童クラブの整備等）（n=175）
5. 未来を担う子どもたちの生きる力を伸ばす学校教育の充実（学校の教育力の向上、パソコン等を活用した授業の充実、不登校対策等）（n=174）
6. セーフティネットの整備充実（生活困窮者の自立支援等）（n=174）
7. 女性や若者が活躍できる地域づくりの推進（男女共同参画の推進、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進等）（n=185）
8. 地域の課題を共有し、ともに考え、地域の実情に合ったまちづくりの推進（町会、自治会、NPO等地域活動団体への支援等）（n=173）
9. 地域での生活を支える取組の推進（障害者、高齢者、若年非就業者の就労支援等）（n=169）



Q32～Q39. 次のそれぞれの項目の「満足度」について、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください

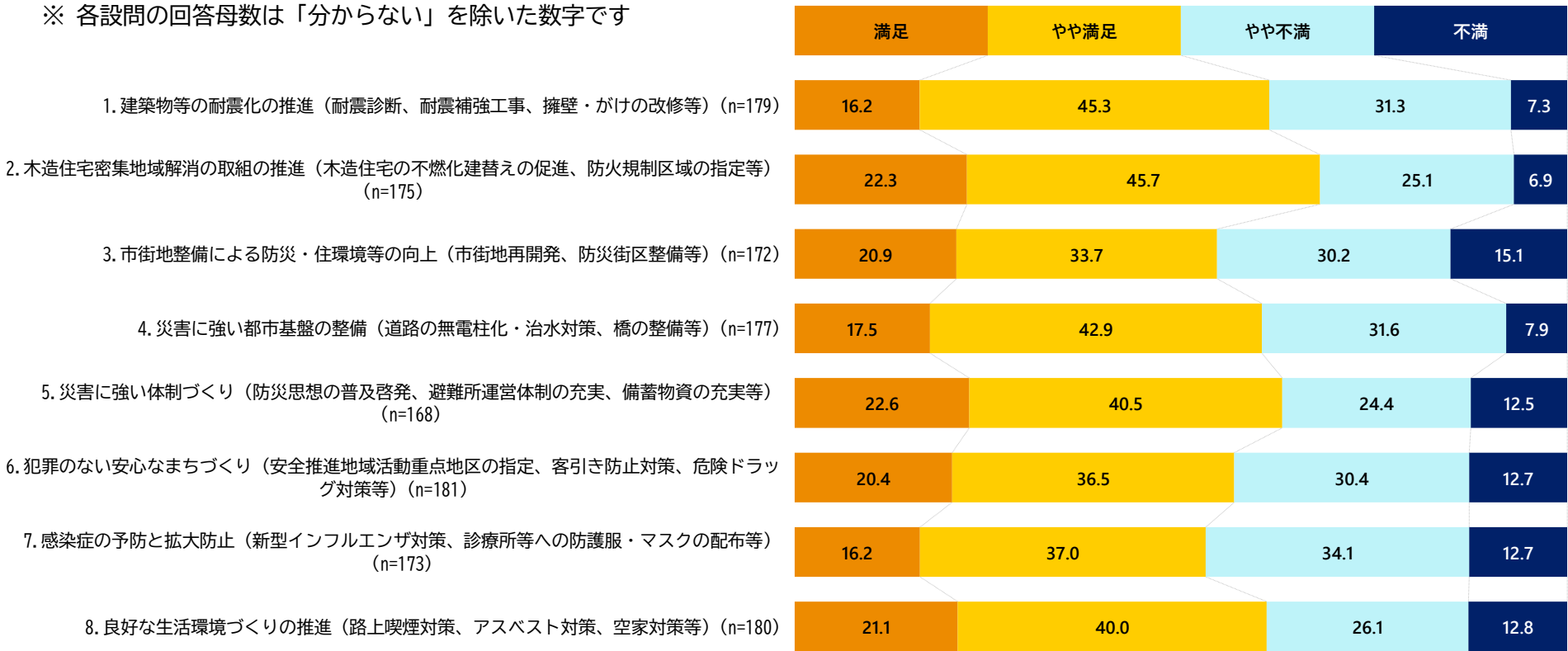
総合計画における満足度の分布（単純集計）（在学者）

（新宿の高度防災都市化と安全安心の強化）

■ 「木造住宅密集地域解消の取組の推進」68.0%、「災害に強い体制づくり」63.1%、「建築物等の耐震化の推進」61.5%、「良好な生活環境づくりの推進」61.1%が高く、比較的安定した評価となっています。在学者では、防災・生活環境分野は比較的安定して評価されているため、総合計画では、防災基盤の維持・強化を着実に進めつつ、良好な生活環境づくりを継続的に高めていく方向が望まれます。

（在学者：n=200）

※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です



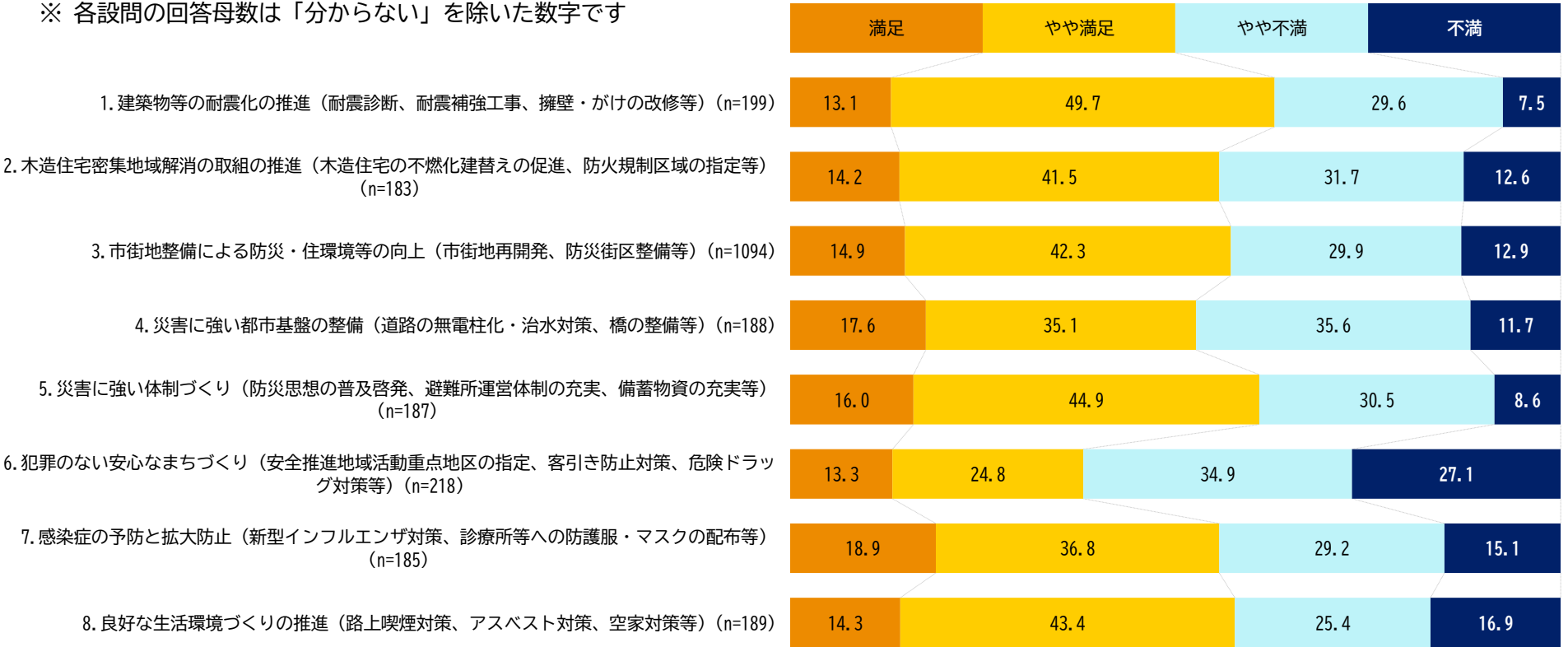
Q32～Q39. 次のそれぞれの項目の「満足度」について、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください

総合計画における満足度の分布（単純集計）（在勤者）

（新宿の高度防災都市化と安全安心の強化）

■ 「建築物等の耐震化の推進」62.8%、「災害に強い体制づくり」60.9%は一定の評価ですが、「犯罪のない安心なまちづくり」はマイナス評価が62.0%と厳しい結果です。在勤者に対しては、防災分野の取組は引き続き評価されている一方で、防犯面が大きな課題であるため、総合計画では「犯罪のない安心なまちづくり」を重点的に強化する必要があります。

（在勤者：n=300）
※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です



Q40～Q55. 次のそれぞれの項目の「満足度」について、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください

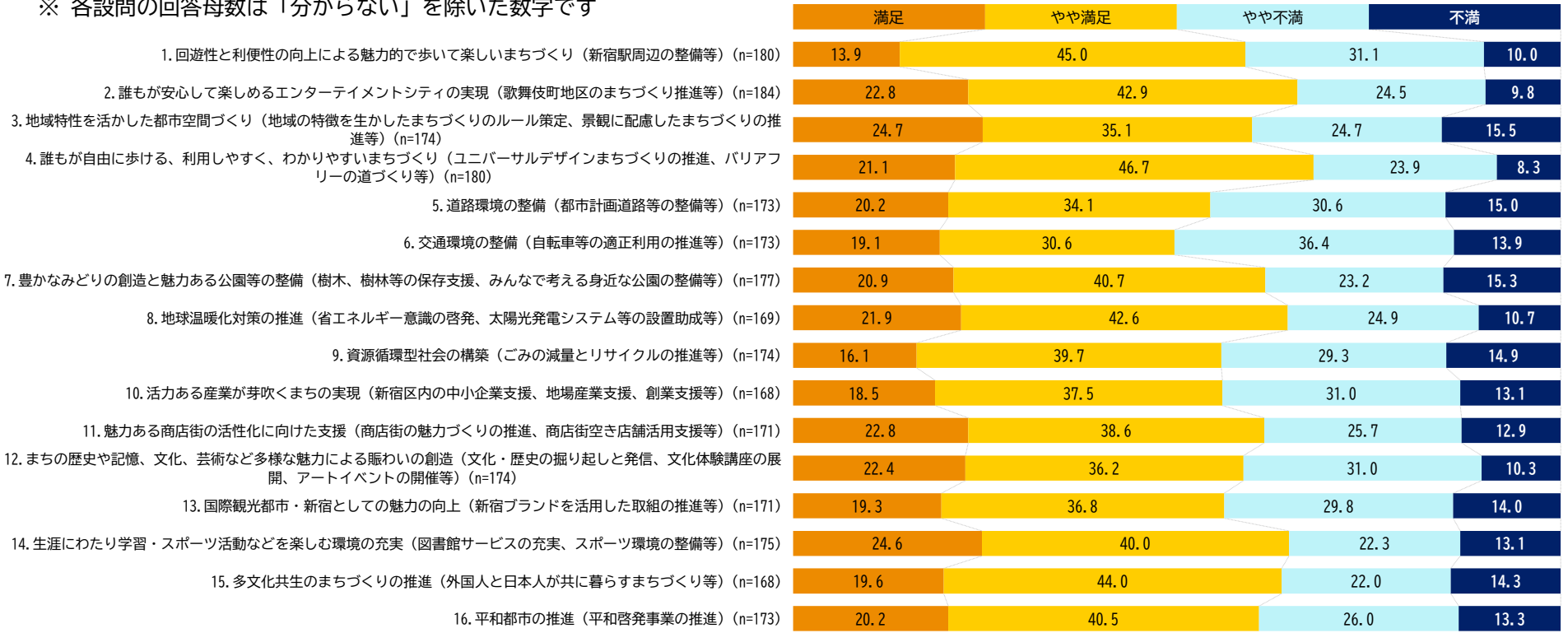
総合計画における満足度の分布（単純集計）（在学者）

（賑わい都市・新宿の創造）

■ 「誰もが自由に歩ける、利用しやすく、わかりやすいまちづくり」67.8%、「誰もが安心して楽しめるエンターテインメントシティの実現」65.7%が高い一方、「交通環境の整備」は49.7%で最も低くなっています。在学者に対しては、ユニバーサルなまちづくり、エンターテインメント性といった新宿区の魅力を維持・発展させつつ、相対的に評価の低い交通環境を改善することが有効です。特に、交通環境は利便性や暮らしやすさの実感に直結するため、次期計画での改善余地が大きいと考えられます。

（在学者：n=200）

※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です



Q40～Q55. 次のそれぞれの項目の「満足度」について、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください

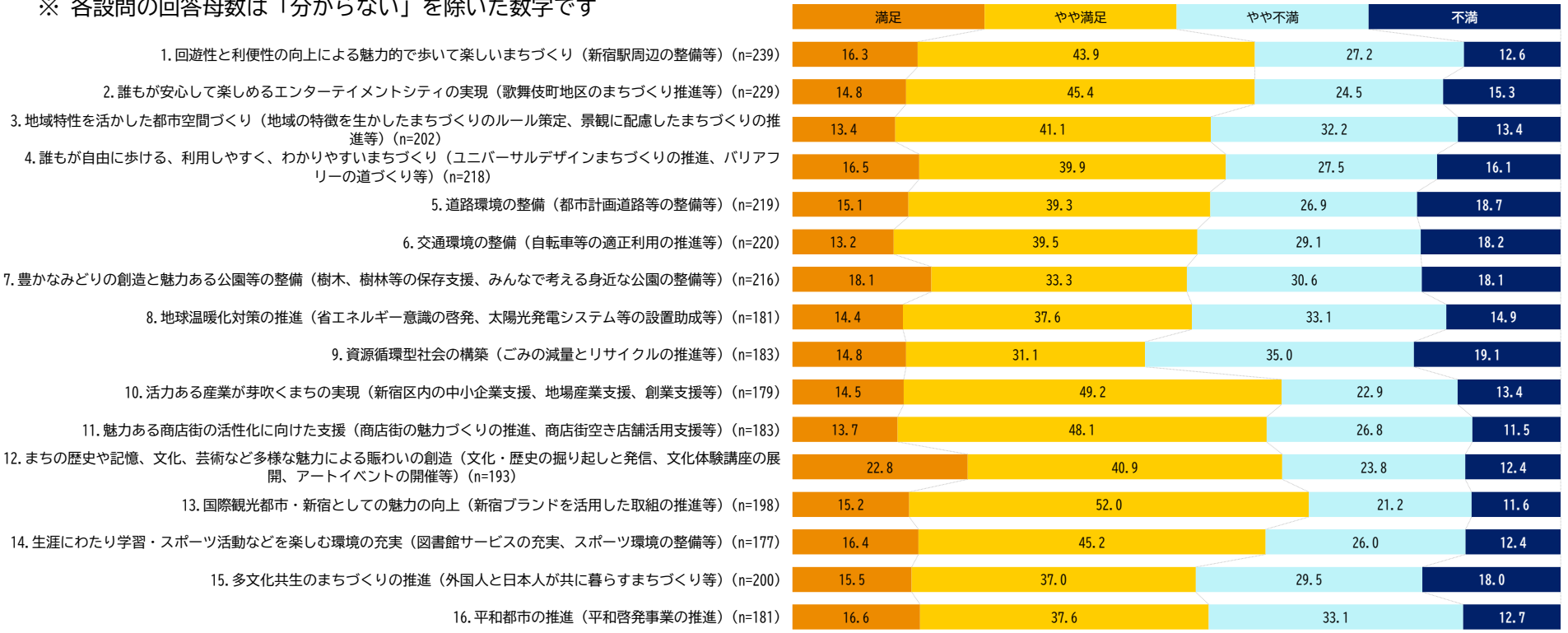
総合計画における満足度の分布（単純集計）（在勤者）

（賑わい都市・新宿の創造）

■ 「国際観光都市・新宿としての魅力の向上」67.2%が最も高く、「活力ある産業が芽吹くまちの実現」63.7%も高いです。一方、「資源循環型社会の構築」は45.9%で相対的に低い評価です。在勤者に対しては、観光・産業の分野が新宿区の強みとして認識されているため、総合計画ではこれらの魅力を引き続き伸ばしていくことが重要です。一方、資源循環型社会の構築は相対的に低評価であるため、持続可能性や環境配慮の取組を強めることが求められます。

（在勤者：n=300）

※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です



Q56～Q57. 次のそれぞれの項目の「満足度」について、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください

総合計画における満足度の分布（単純集計）

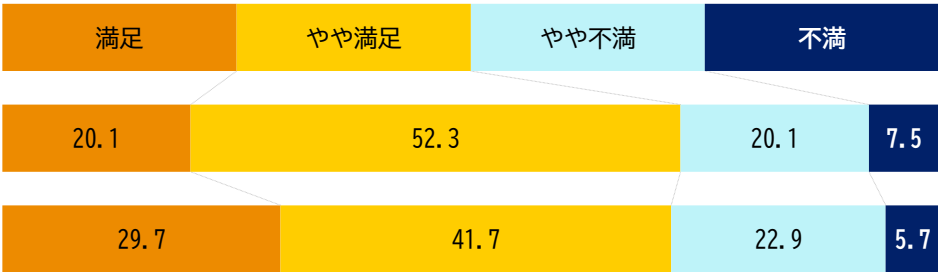
（健全な区財政の確立）

- 在学者・在勤者ともに、「効果的・効率的な行財政運営」「公共施設マネジメントの強化」は過半数が肯定的に評価しており、特に在学者で高い傾向がみられます。今後も安定的な行財政運営と公共施設マネジメントを着実に進めるとともに、その成果が在学者・在勤者の双方に伝わるよう、分かりやすい発信を行うことが重要です。

（在学者：n=200）

※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です

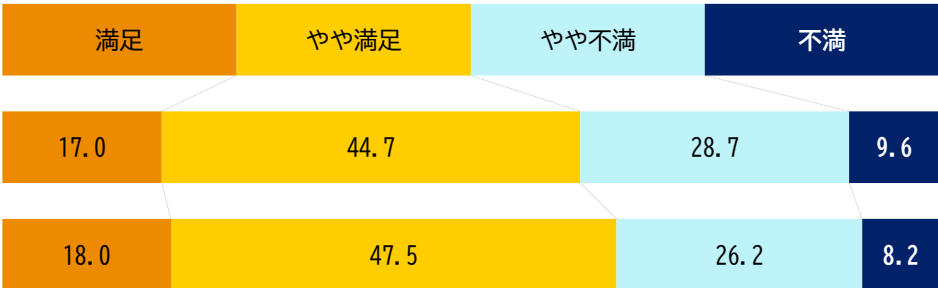
- 1. 効果的・効率的な行財政運営（行政評価制度の推進、指定管理者制度等による民間活力の活用等）（n=174）
- 2. 公共施設マネジメントの強化（中長期的な修繕計画に基づく公共施設の維持保全・公有地の有効活用、公共施設の機能拡充等）（n=175）



（在勤者：n=300）

※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です

- 1. 効果的・効率的な行財政運営（行政評価制度の推進、指定管理者制度等による民間活力の活用等）（n=188）
- 2. 公共施設マネジメントの強化（中長期的な修繕計画に基づく公共施設の維持保全・公有地の有効活用、公共施設の機能拡充等）（n=183）



Q58～Q60. 次のそれぞれの項目の「満足度」について、あなたのお考えに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください

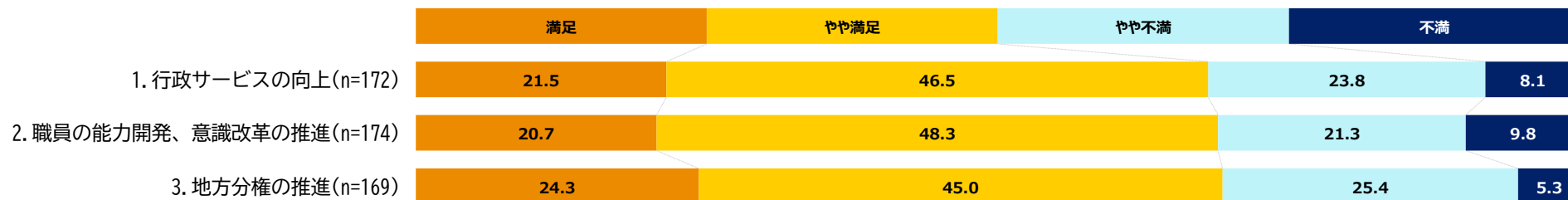
総合計画における満足度の分布（単純集計）

（好感度1番の区役所）

- 在学者・在勤者ともに、「行政サービスの向上」「職員の能力開発、意識改革の推進」「地方分権の推進」は概ね肯定的に評価されていますが、在勤者では「職員の能力開発、意識改革の推進」の評価がやや低めです。行政サービスの質を維持しながら、特に職員対応や改革の成果について、在学者・在勤者に実感されやすい形で伝えていくことが求められます。

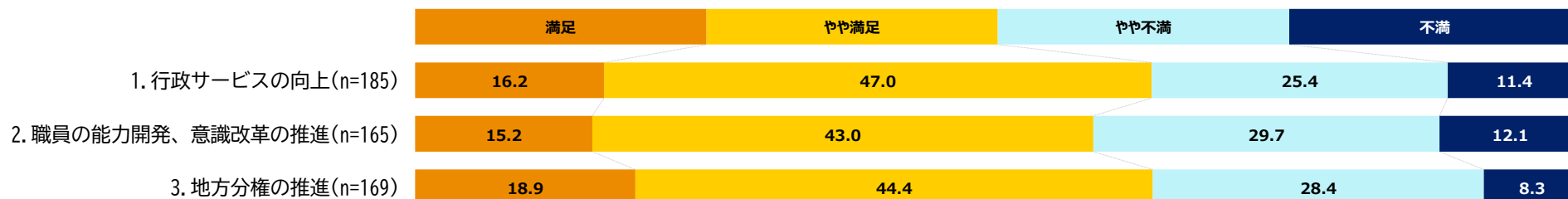
（在学者：n=200）

※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です



（在勤者：n=300）

※ 各設問の回答母数は「分からない」を除いた数字です



Q61. 現行総合計画の33の個別施策に関する良い点や見直しが必要な点がある場合、また、その他ご意見がある場合はご自由にお書きください（400文字以内）

自由記述回答の分類（在学者）

■ 上記設問に対して、主な回答を抜粋し、分野ごとに整理しました

No.	分野	回答
1	高齢社/障害者	高齢者向け福祉や障害者向け福祉サービスの充実
2	障害者	精神や身体に負担がある人達がもっと住みやすいまちにしてほしい
3	環境	ゴミが少ない街になってほしい
4	コミュニティ、多文化共生	新宿区内は他の区と比べてもいわゆる「排除ベンチ」などと言われるような設置物が多く感じる。日本を代表する都市として、排除よりも思いやりと寄り添いのあるまちであって欲しい
5	窓口サービスの充実	どの街に暮らしていても区開催の会合や支援策等は自分から取りに行かないと分からない、知ることができないのが現状だと思う

Q61. 現行総合計画の33の個別施策に関する良い点や見直しが必要な点がある場合、また、その他ご意見がある場合はご自由にお書きください（400文字以内）

自由記述回答の分類（在勤者）

■ 上記設問に対して、主な回答を抜粋し、分野ごとに整理しました

No.	分野	回答
1	子育て支援	子育て支援の充実に取り組んでいる姿勢はとても良いです。特に待機児童政策には効果が出ていると思う。一方で、繁華街エリアと居住エリアが近いため、子どもが安心して遊べる広場の充実、治安、犯罪防止などにより一層務めて欲しい
2		大規模な商業開発だけでなく、地域住民が日常的に利用できる公園や子育て支援施設の充実など、誰もが住み続けたい生活基盤の整備を優先した都市計画を望む
3	耐震化、不燃化、防災	安心安全なまちづくりをさらに推進する必要がある。まちが雑然としており整然とはしていない、木密地域がまだ残っている。物価の高さを抑制してほしい
4		新宿区の特徴である多文化共生が進んでいる点は評価していますが、古い木造住宅密集地域の不燃化や耐震化といった「住まいの安全性」については、さらなる加速が必要だと感じます。
5		新宿区全体としては案外居住地でもある。しかし、その防災化は大規模共同住宅（所謂大型マンション）が中心で、戸建て建物や小規模共同住宅（所謂アパート）が進んでいない。大規模地震や戦乱などで大火災旋風が起これば焦土になると思うので、東京都と共同で区も施策を行って欲しい
6	防災、安全・安心	治安を良くするのが第一課題のように思う
7	都市基盤・ユニバーサルデザイン	緑が少なく、道幅も狭く、ものが集中している街並みのため危険が多い
8	効果的・効率的な行財政運営、行政評価、地方分権の推進	情報を手に入れるためにも自ら進んで得なければ分からないため、広報活動に力を入れるべきだと考える
9		税収入が区民に対して有効に使われているかが不鮮明
10		予算が潤沢なせいだと思うが、正直言って中身が薄く総花的